

令和8年度第1回静岡市文化振興審議会

日時:令和8年6月26日(金) 14:00~16:30

会場:静岡市上下水道局庁舎 7階 71 会議室

次 第

1 開 会

- ・委嘱状の交付
- ・委員自己紹介
- ・会長・副会長選出
- ・職員自己紹介

2 議 題

- (1)第2期静岡市文化振興計画 令和7年度事業実施評価について
(資料2・3・4)
- (2)第3期静岡市文化振興計画の骨子案について
(資料5・6)
- (3)文化に関する市民意識調査の実施について

3 報 告 静岡市民文化会館再整備事業について

4 事務連絡

5 閉 会

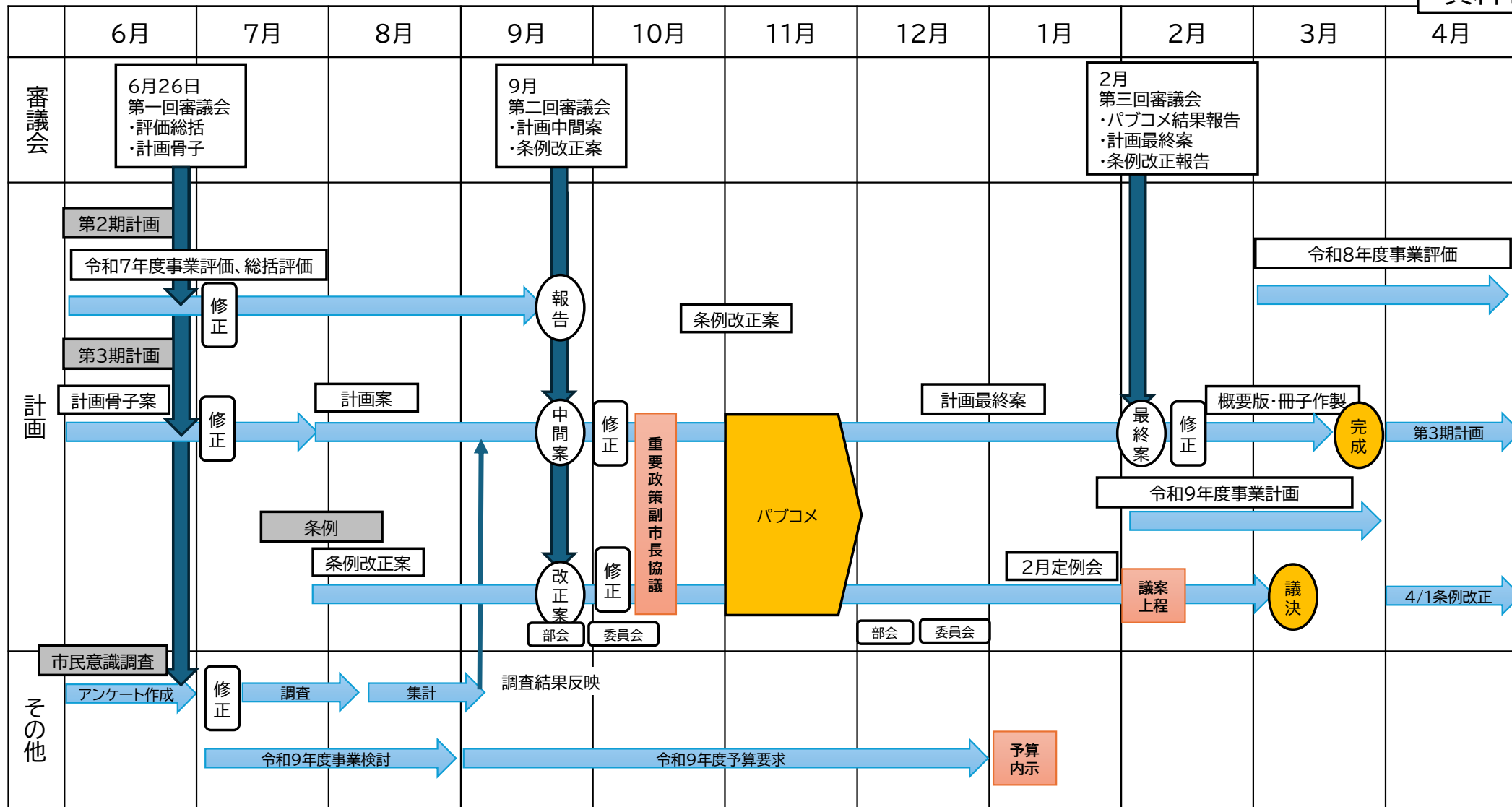
令和8年6月26日～令和10年6月25日

静岡市文化振興審議会 名簿（役職・五十音順 敬称略）

	氏名	役職等
1	うんの としひこ 海野 俊彦	静岡市文化協会 会長
2	えんどう じろう 遠藤 次朗	特定非営利活動法人 アートコネクトしずおか 理事
3	さかくち ひろあき 坂口 裕昭	観光文化・市民局 スポーツ政策監
4	さ さ き まさゆき 佐々木 雅幸	静岡文化芸術大学 理事長兼学長 大阪市立大学名誉教授 一般社団法人創造都市研究所代表理事
5	たなか とよね 田中 豊稲	(公財)静岡市文化振興財団 理事長
6	なるしま ようこ 成島 洋子	(公財)静岡県舞台芸術 センター芸術局長
7	久野 貴子	市民委員
8	ひらの まさひこ 平野 雅彦	元静岡大学 特任教授・客員教授 静岡文化振興財団 評議員
9	宮城嶋 開人	市民委員
10	やまうち しんいち 山内 真一	アオハル合同会社 代表社員

第3期文化振興計画策定スケジュール

資料1



※必要に応じ随時メール等で委員に意見聴取を行う

18		文化政策課	文化芸術アウトリーチプログラム事業	市内で活動している文化団体等と連携し、子どものうちから様々な分野の文化芸術に親しむ機会を設け、文化芸術に対する理解及び関心を高めるため、市内小中学校、こども園等を訪問し、気軽に文化芸術に触れることができる機会を提供する。	①文化団体等がこども園等の施設を訪問し、気軽に文化芸術に触れることができる機会の提供 ②未定 ③静岡市内のこども園、放課後子ども教室、こども食堂等	実施回数	19回	19回	6000	5877	観覧者数	1200	1427	A	文化芸術創造拠点事業に呼応して、演劇を10回実施するなど、前年度に比べ意欲的な内容の変更があった。	①文化団体等がこども園等の施設を訪問し、気軽に文化芸術に触れることができる機会の提供 ②未定 ③静岡市内のこども園、放課後子ども教室、こども食堂等	認知度が足りないことが課題である。教育施設関連の対象者に、よりこの事業が伝わる広報を行う必要がある。
19		観光国際課	展覧会事業（静岡市東海道広重美術館）	浮世絵美術を中心とした美術館として、優れた美術作品等の鑑賞機会を提供するとともに市民にわかりやすく魅力的な展覧会を企画、実施する。（年間5回）	浮世絵美術を中心とした美術館として、優れた美術作品等の鑑賞機会を提供するとともに市民にわかりやすく魅力的な展覧会を企画、実施する。（年間5回）	企画展開催回数	5回	5回	36,263千円の内数	36,263千円の内数	来館者数	24,500人	33,228人	S	指定管理業務の仕様書に定める目標人数を大幅に上回ったことから、S評価とした。	浮世絵美術を中心とした美術館として、優れた美術作品等の鑑賞機会を提供するとともに市民にわかりやすく魅力的な展覧会を企画、実施する。（年間1回） ※ 施設改修に伴い、6月以降休館するため事業休止	令和8年度は、施設改修に伴い、10か月の休館となることから、休館期間中の客離れ等が課題である。
20		観光国際課	ギャラリートーク及び講演会事業（静岡市東海道広重美術館）	展覧会の内容に係る来館者向けのギャラリートーク（団体向け展示解説含む）、芸術文化に係る講演会を実施する。	展覧会の内容に係る来館者向けのギャラリートーク（団体向け展示解説含む）、芸術文化に係る講演会を実施する。 ①ギャラリートーク開催 ②団体向け展示解説 ③講演会の開催	開催回数	①11回 ②随時 ③1回	①10回 ②随時 ③1回 （2月時点）	36,263千円の内数	36,263千円の内数	延べ参加者人数	793人（R6年度実績）以上	①193人 ②1,061人 ③19人 延べ参加者人数1,273人	S	前年度実績を大幅に上回る結果となったことから、S評価とした。	展覧会の内容に係る来館者向けのギャラリートーク（団体向け展示解説含む）を実施する。 ①ギャラリートーク開催 ②団体向け展示解説 ※施設改修に伴い、6月以降休館するため事業休止	令和8年度は、施設改修に伴い、10か月の休館となることから、休館期間中の客離れ等が課題である。
21		文化政策課（静岡音楽館AOI）	音楽分野における公演等事業（「コンサートシリーズ」等）	静岡音楽館ホールの音響特性を活かした「コンサートシリーズ」を事業の核として実施。その他、独創的な公演、特定のジャンルに偏らない多彩な公演、だれもが気軽に音楽を鑑賞できる公演、パイプオルガン等音楽館所有楽器を活用した市民に親しんでもらう公演を実施する。	①コンサートシリーズ ②ジャンルに偏らず多彩な公演を実施し、音楽へ親しむ環境を提供する ③令和7年度 ④静岡音楽館	入場者数	6,320人	5,362人	227,176 （指定管理料の一部）	235,138 （指定管理料の一部）	入場者数	6,320人	5,362人	B	入場者数について目標値を下回ったため。	①コンサートシリーズ ②ジャンルに偏らず多彩な公演を実施し、音楽へ親しむ環境を提供する ③令和7年度 ④静岡音楽館	施設利用者の裾野を拡大するため、市民の鑑賞機会拡大や地域の音楽家の支援・育成を図り、事業内容を充実させていくことで、施設利用率向上とコンサート入場者数の増加に努めている。
22		文化政策課（静岡音楽館AOI）	音楽分野におけるその他の連携事業「小中学校でのピアノ・ミニコンサート」（どこでもAOI等）	より多くの市民が、クラシック音楽への興味・関心を高められるよう清水区や中山間地等の静岡音楽館から離れた地域、医療施設、福祉施設等でアウトリーチ事業を実施。また、子どものための事業や市民参画の機会、講座や講演会などの事業を実施する。	①アウトリーチ・コンサート、どこでもAOI 等 ②AOI以外の学校や生涯学習施設等で生演奏を体験してもらう ③6/5、9/20、11/12 他 ④静岡中央特別支援学校、興津生涯学習交流館等	来場者数	目標値の設定なし	765人	227,176 （指定管理料の一部）	235,138 （指定管理料の一部）	来場者数	目標値の設定なし	765人	A	事業が計画通り円滑に実施され、クラシック音楽への興味・関心を高めることができたため。	①アウトリーチ・コンサート、どこでもAOI 等 ②AOI以外の学校や生涯学習施設等で生演奏を体験してもらう ③6/5、9/20、11/12 他 ④静岡中央特別支援学校、興津生涯学習交流館等	引き続き、クラシック音楽への興味・関心を高めるため、事業内容を充実させていくことで、来場者数の増加に努めている。
23		文化政策課（静岡音楽館AOI）	音楽分野における普及振興事業（「子どものための音楽ひろば」等）	子どもたちに本物に触れる機会を提供するとともに、音楽分野における幅広い経験を通して豊かな感性を養うことの出来るような体験機会を提供する。	①第25期「子どものための音楽ひろば」 ②小学4年生から中学3年までの子どもを対象とした音楽に親しむための講座 ③1年間で全24回実施 ④静岡音楽館	受講者数	35人	37人	227,176 （指定管理料の一部）	235,138 （指定管理料の一部）	受講者数	35人	37人	A	受講者数について目標を上回ることができたため。	①第25期「子どものための音楽ひろば」 ②小学4年生から中学3年までの子どもを対象とした音楽に親しむための講座 ③1年間で全24回実施 ④静岡音楽館	引き続き、子どもたちに本物に触れる機会を提供するとともに、音楽分野における幅広い経験を通して豊かな感性を養うことの出来るような体験機会を提供する。
24		文化政策課（静岡市美術館）	美術分野における展覧会事業	年間を通じた企画展事業を中心に、多様で質の高い魅力的な展覧会や、静岡ならではの企画を実施し、併せて展覧会の記録と図録の発行も行う。	①イベント名称：静岡市美術館展覧会 ②内容： （1）「うつりゆく自然を描く 小野竹喬の世界」 （2）「バウル・クレー展 創造をめぐる星座」 （3）「柚木沙弥郎 永遠のいま」 （4）「きもののヒミツ 友禪のうまれるところ」 （5）「かがくいひろしの世界展」 ③4/12～5/25、6/7～8/3、8/16～10/13、10/25～12/21、1/10～3/22 ④会場：静岡市美術館	入場者数	(1)設定なし (2)56人 (3)24人 (4)80人 (5)280人 (6)80人	(1)1,959人 (2)65人 (3)26人 (4)108人 (5)487人 (6)28人	262,528 （指定管理料の一部）	260,683 （指定管理料の一部）	入場者数	(1)設定なし (2)56人 (3)24人 (4)80人 (5)280人 (6)80人	(1)1,959人 (2)65人 (3)26人 (4)108人 (5)487人 (6)28人	A	期待通りであった	①イベント名称：静岡市美術館展覧会 ②内容： （1）水木しげるの妖怪 百鬼夜行展～お化けたちはこうして生まれた～ （2）スウェーデンのうつわ グスタフスペリのある暮らし （3）わたしたちのルノワール 日本が愛した、幸せの画家 （4）エドワード・ゴッリー 秘密のメッセージ （5）竹久夢二 時代を創る表現者 ③4月4日（土）～6月14日（日）、6月27日（土）～9月6日（日）、9月22日（火・祝）～11月15日（日）、11月28日（土）～2028年1月11日（月・祝）、1月23日（土）～3月28日（日） ④会場：静岡市美術館	引続き展覧会の内容をわかりやすく伝え、鑑賞を深めるような関連した事業を開催するとともに、より多くの市民に本物の美術作品に触れる機会を提供する。

25	文化政策課 (静岡市美術館)	美術分野における教育普及事業	美術の楽しさ、奥深さを市民に伝えるため、講座、講演会に加えてミュージアムコンサートやアーティストを招いてのワークショップ等、参加体験型の活動まで、幅広く展開する。	(1)①イベント名称:ミュージアム教室 ②内容:展覧会の理解を深めるため、児童、生徒及び学生に学習員が解説を行う ③期間:展覧会期間中(企画展5回/年) (2)①イベント名称:磨とあそぶワークショップ ②内容:祭事や年中行事に関するものを作成する ③開催日:5/3～5/4、12/14 (3)①イベント名称:プレゼントワークショップ ②内容:記念日にあわせてプレゼントを作成する ③開催日:11/29、11/30 (4)①イベント名称:しずびチビッコプログラム ②内容:未就学児を対象各展覧会関連のアートプログラム ③開催日:7/13、9/13、11/16、3/20 (5)①イベント名称:しずびオープンアトリエ ②内容:展覧会に即したワークショップ ③開催日:8/21～8/31、2/14～3/15、 (6)①イベント名称:おうちで! しずびオープンアトリエ ②内容:展覧会に即したワークショップを自宅で実施できるよう、キットの貸出及び動画配信を行う。 ③開催日:通年 (1)～(5)の④会場はいずれも静岡市美術館	入場者数	(1)設定なし (2)56人 (3)24人 (4)80人 (5)280人 (6)80人	(1)1,959人 (2)65人 (3)26人 (4)108人 (5)487人 (6)28人	262,528 (指定管理料の一部)	260,683 (指定管理料の一部)	入場者数	(1)設定なし (2)56人 (3)24人 (4)80人 (5)280人 (6)80人	(1)1,959人 (2)65人 (3)26人 (4)108人 (5)487人 (6)28人	S	期待を上回っていた	(1)①イベント名称:ミュージアム教室 ②内容:展覧会の理解を深めるため、児童、生徒及び学生に学習員が解説を行う ③期間:展覧会期間中 (2)①イベント名称:磨とあそぶワークショップ ②内容:祭事や年中行事に関するものを作成する ③開催日:12/13 (3)①イベント名称:プレゼントワークショップ ②内容:記念日にあわせてプレゼントを作成する ③開催日:10/17、10/18 (4)①イベント名称:しずびチビッコプログラム ②内容:未就学児を対象各展覧会関連のアートプログラム ③開催日:未定(展覧会ごとに1日2回実施) (5)①イベント名称:しずびオープンアトリエ ②内容:展覧会に即したワークショップ ③開催日:8/7～8/16、2/13～3/14 (6)①イベント名称:おうちで! しずびオープンアトリエ ②内容:展覧会に即したワークショップを自宅で実施できるよう、キットの貸出及び動画配信を行う。 ③開催日:未定 (1)～(5)の④会場はいずれも静岡市美術館	引続き展覧会の内容をわかりやすく伝え、鑑賞を深めるような関連した事業を開催するとともに、より多くの市民に本物の美術作品に触れる機会を提供する。
26	文化政策課 (中勤助文学記念館)	中勤助文学記念館顕彰事業「杵子庵文芸サロン」	中勤助が詠んだ俳句や詩など功績を顕彰するとともに、受講者自らが作品を制作することにより、市民の文芸活動の機会を提供し、関心を高める。	①事業名と同一 ②俳句講座 ③令和6年5月24日(金)、31日(金)、6月7日(金)、14日(金)10:00～12:00 ④中勤助文学記念館	申込者数	15名	7名	118,000円	48,244円	申込者数	15名	7名	B	目標値を下回ったため	①杵子庵文芸サロン ②俳句講座 ③令和8年5月～6月 ④中勤助文学記念館	広く広報の実施とテーマ性の見直し
27	文化政策課 (静岡市民文化会館)	舞台芸術分野における支援育成事業	芸術文化を楽しむための支援と芸術文化を担う人材育成に取り組む。また、より高い興味関心を持つ市民に対しては、実践の場や研修機会の設定を行い、文化活動の担い手を繋ぐサークル等の立ち上げ支援を図る。	静岡市民文化会館が改修に伴い休館したため事業休止	—	—	—	—	—	—	—	—	評価対象外	静岡市民文化会館が改修に伴い休館したため事業休止	静岡市民文化会館が改修に伴い休館したため事業休止	—
28	文化政策課 (静岡市民文化会館)	静岡市民文化会館再整備事業	静岡市民文化会館が静岡都心の芸術文化の拠点になるとともに、市内外から多くの人を惹きつけ、周辺エリアの回遊性を高め、経済波及効果をもたらす施設となるよう、再整備を行う。	入札不調を受け、①最低限必要な安全性と快適性を確保すること、②再開館後も施設サービスを維持すること、③再開館時期を遅らせないことなどを方針に掲げ、改修内容の見直しを行い、実施設計についで、令和7年度早々に発注を行い、事業を進めていく。	①工事発注(実施設計・工事管理含む)の公告及び契約締結 ②次期指定管理者の募集・審査・選定	①5% (契約締結、諸条件整理、実施設計着手) ②—	①5% ②—	132,000	108,900	①工事発注(実施設計・工事管理含む)の公告及び契約締結 ②次期指定管理者の募集・審査・選定	①5% (契約締結、諸条件整理、実施設計着手) ②—	①5% ②—	A	実施設計の契約締結から着手まで予定通りのスケジュールで進めることができたため。	令和8年度は改修工事の着手に向け準備を進めていく。	改修工事の発注に向け、諸条件を整理し、早期発注を目指す。
29	文化政策課 (マリナート)	交流活性化事業(大型公演)	ホールの特性を生かし、地方での鑑賞機会が希少な大型公演(ミュージカル、演劇、音楽)を誘致する。	①ミュージカル「赤毛のアン」 ②ミュージカル ③令和7年7月28日(月)～8月1日(金) ④マリナート	来場者数	5,000人	4,616人	151,329 (施設全体の運営費)	1,236	来場者数	5,000人	4,616人	A	目標値には届かなかったものの、目標値の90%以上の来場者数であったため。	①劇団四季ミュージカル コーラス・ライン ②ミュージカル ③令和8年8月21日(金)～25日(火) ④マリナート	一定数の来場はあるものの、事業自体を把握していない市民もいることから、事業実施を積極的に発信し周知していく。
30	文化政策課 (マリナート)	交流活性化事業(展示)	美術館ではないマリナートだからこそ実施可能な、親しみやすい体験型展示事業を開催する。	①バンどろぼう展 ②展示 ③令和7年4月12日(土)～5月11日(日) ④マリナート	来場者数	15,000人	23,612人	151,329 (施設全体の運営費)	53,061	来場者数	15,000人	23,612人	S	目標値を大幅に上回ったため。	①鈴木のりたけ展 ②展示 ③令和8年4月8日(水)～5月10日(土) ④マリナート	目標値を大幅に上回っているため、今後も親しみやすい体験型展示事業を開催し、より多くの市民が足を運び施設を目指し市内他施設との連携事業やアウトリーチにより多くの市民に認知向上を図ることで鑑賞機会を拡大していく。
31	文化政策課 (マリナート)	文化普及事業(鑑賞型事業)	共催公演の誘致を行い、多くの鑑賞機会を創出する。また、市内他施設との連携事業やアウトリーチにより多くの市民に認知向上を図ることで鑑賞機会を拡大する。	①静岡・室内楽フェスティバル2025ドリブラ・クラシック・コンサート ②室内楽 ③未定 ④エス・バルスドリームプラザ	来場者数	150人	192人	151,329 (施設全体の運営費)	247	来場者数	150人	192人	S	目標値を大幅に上回ったため。	①静岡・室内楽フェスティバル2026ドリブラ・クラシック・コンサート ②室内楽 ③未定 ④エス・バルスドリームプラザ	目標値を大幅に上回っているため、今後も市内他施設との連携事業やアウトリーチにより多くの市民に認知向上を図ることで鑑賞機会を拡大する。
32	文化政策課 (マリナート)	文化普及事業(市民参加型事業)	市民の文化活動を促進する文化活動の環境整備事業を展開し、多くの市民が集うことができる場を提供する。	①マリナートBRASSカップin Shizuoka City 2025 ②市内中等学校吹奏楽部によるコンクール形式の吹奏楽公演 ③令和7年6月7日(土) ④マリナート	来場者数	2,000人	2,633人	151,329 (施設全体の運営費)	1,887	来場者数	2,000人	2,633人	S	目標値を大幅に上回ったため。	①マリナートBRASSカップin Shizuoka City 2026 ②市内中等学校吹奏楽部によるコンクール形式の吹奏楽公演 ③令和8年6月5日(金)、6日(土) ④マリナート	目標値を上回っているため、今後も市民の文化活動を促進する文化活動の環境整備事業を展開し、多くの市民が集うことができる場を提供する。
33	文化政策課 (マリナート)	文化の担い手育成事業(アーティスト育成事業)	次世代の文化の担い手となる若手の育成支援のため、学校連携を図りながら、若手の演奏の場の提供を行う。	①マリナートBRASSカップin Shizuoka City 2025 ②市内中等学校吹奏楽部によるコンクール形式の吹奏楽公演 ③令和7年6月7日(土) ④マリナート	来場者数	2,000人	2,633人	151,329 (施設全体の運営費)	1,887	来場者数	2,000人	2,633人	S	目標値を大幅に上回ったため。	①マリナートBRASSカップin Shizuoka City 2026 ②市内中等学校吹奏楽部によるコンクール形式の吹奏楽公演 ③令和8年6月5日(金)、6日(土) ④マリナート	目標値を大幅に上回っているため、今後も次世代の文化の担い手となる若手の育成支援のため、学校連携を図りながら、若手の演奏の場の提供を行う。
34	文化政策課 (マリナート)	文化芸術継承発展事業	地域連携による回遊性の向上を図るため、地域の商店街や施設と連携した事業により、集客はもとより観光誘致を視野に、清水駅周辺の回遊性を向上させる事業を展開する。	①第13回 清水にぎわい落語まつり ②清水駅周辺の街の活性化と伝統芸能である落語の普及を目的とする事業 ③令和7年10月11日(土)～13日(月・祝)	来場者数	1,800人	2,069人	151,329 (施設全体の運営費)	7,840	来場者数	1,800人	2,069人	S	目標値を大幅に上回ったため。	①第14回 清水にぎわい落語まつり ②清水駅周辺の街の活性化と伝統芸能である落語の普及を目的とする事業 ③令和8年10月10日(土)～12日(月・祝)	目標値を大幅に上回っているため、今後も地域連携による回遊性の向上を図るため、地域の商店街や施設と連携した事業により、集客はもとより観光誘致を視野に、清水駅周辺の回遊性を向上させる事業を展開する。
35	文化政策課 (芹沢銈介美術館)	展覧会事業(芹沢銈介美術館)	静岡市の生んだ染色家で名誉市民、重要無形文化財保持者であり、文化功労者の栄誉を受けた芹沢銈介の功績をたたえとともに、芹沢芸術を永く後世に伝えるため、その作品とコレクションを保存展示して、高い芸術的価値と郷土文化の高揚を図る。	年4回の企画展を実施し、芹沢芸術を発信する。 ・第137回企画展「四季を染める 芹沢銈介の春夏秋冬」 会期:令和7年4月1日～6月15日 ・第138回企画展「絵本と装幀 芹沢銈介の本の仕事」 会期:令和7年7月1日～9月23日 ・第139回企画展「芹沢銈介生誕130年記念展 型紙 美しい染物への約束」 会期:令和7年10月7日～12月7日 ・第140回企画展「語り合う布たち 芹沢銈介が集めた世界の染織」 会期:令和8年1月4日～3月15日	企画展実施回数	4回	4回	45,406千円の一部	45,406千円の一部	観覧者数	32,000人	34,262人	S	観覧者アンケートの満足度も高く、芹沢銈介生誕130年記念事業や静岡市美術館との連携企画の影響もあるが、目標値を上回る結果となったことからSとした。	年4回の企画展を実施し、芹沢芸術を発信する。 ・第141回企画展「芹沢銈介の人物模様」 会期:令和8年4月1日～6月14日 ・第142回企画展「暮らしに型染を 芹沢染紙研究所の挑戦」 会期:令和8年7月1日～9月23日 ・第143回企画展「開館45周年記念展 街角に息づく芹沢でデザイン」会期:令和8年10月10日～12月13日 ・第144回企画展「収集という名の創造」 会期:令和9年1月5日～3月14日	新たな切り口での展覧会を企画・開催することで、リピーターの期待に答えるとともに、満足度の維持に努める。
36	文化政策課 (芹沢銈介美術館)	ワークショップ(芹沢銈介美術館)	ワークショップならではのオリジナル創作体験プログラムを開発することで、広く市民に対して、鑑賞と創作の双方から美術に親しむ機会を提供し、次世代の文化の担い手の育成及び文化の受容層の拡充を図る。	展覧会のテーマに沿った内容のワークショップを開催する。	ワークショップ実施回数	3回	3回	45,406千円の一部	45,406千円の一部	参加者数	105人	111人	S	定員を設けて実施したが、美術館の来館につながる目標値を上回る結果となったことからSとした。	展覧会のテーマに沿った内容のワークショップを開催する。	内容を充実させ参加しなくなるワークショップを実施することで、美術館の魅力向上につなげる。
37	文化政策課 (芹沢銈介美術館)	クイズラリー(芹沢銈介美術館)	来館者が展覧会の内容をより深めることのできるよう企画展にかかるクイズを作成し、作品と親しむ機会を提供し、文化の担い手の育成及び文化の受容層の拡充を図る。	展覧会ごとに展示作品等に基づいたクイズを出題し、ワークシート方式のクイズラリーを実施する。	クイズラリー実施回数	4回	4回	45,406千円の一部	45,406千円の一部	参加者数	4,800人	4,510人	A	目標値は下回ったものの、来館者からは作品等をじっくり見るきっかけになったなど好評で、継続を求める意見も多いことからAとした。	展覧会ごとに展示作品等に基づいたクイズを出題し、ワークシート方式のクイズラリーを実施する。	より多くの観覧者に参加してもらえよう、周知に努める。
38	歴史文化課 (静岡市歴史博物館)	教育普及事業	市民の歴史に対する興味を深めるため、講座・体験・ワークショップなどの教育普及事業を行う。また、学校団体による博物館見学に対応し、歴史や地域をテーマとする探求意欲を高める。	①事業名と同一 ②講座・体験・ワークショップなどの教育普及事業を行うとともに、学校団体による博物館見学に対応し、歴史や地域をテーマとする探求意欲を高める。 ③通年 ④静岡市歴史博物館	教育普及実施者数	26,200人	4月末日をめどに連絡	指定管理料338,463千円の一部	(5月下旬に確定)	教育普及実施者数	26,200人	5月末日をめどに連絡	A	豊富な種類の教育普及事業を実施することで、2月末時点で目標を達成しているため。	講座・体験・ワークショップなどの教育普及事業を行うとともに、学校団体による博物館見学に対応し、歴史や地域をテーマとする探求意欲を高める。	
39	文化政策課	羽衣まつり	羽衣伝説発祥の地・三保松原において、その伝説の伝承、私人舞踏家エレーヌ・ジュグラリスの顕彰式や新能を開催する。	①内容:日本の能を研究し、フランスにおける初の能公演に尽力したフランス人舞踏家エレーヌ・ジュグラリスを顕彰し、日仏国際交流の推進と、羽衣伝説の理解・伝承を目的とした文化事業を開催予定。 ②日時:令和7年10月11日(土) ③会場:静岡市三保松原文化創造センター みほしるべ 前広場	来場者数	目標値:330人	目標値:265人	14,135	13,123	来場者数	目標値:330人	目標値:265人	B	来場者数の目標を大幅に下回ったため。	①内容:日本の能を研究し、フランスにおける初の能公演に尽力したフランス人舞踏家エレーヌ・ジュグラリスを顕彰し、日仏国際交流の推進と、羽衣伝説の理解・伝承を目的とした文化事業を開催予定。 ②日時:令和8年10月10日(土) ③会場:静岡市三保松原文化創造センター みほしるべ 前広場(調整中)	安定的な実施に向けた実施会場の検討や予算規模と集客数にに見合うように規模の縮小を行う必要がある。興行的なイベントではなく、事業の保存、研究といった趣旨に変更することを視野に入れながら運営を行っていく。
40	生涯学習推進課	生涯学習施設での学習発表会及び展示事業の実施	生涯学習施設において、学習発表会及び展示事業を実施する。	②生涯学習施設において、学習発表会及び展示事業を実施する。 ③令和7年4月1日～令和8年3月31日 ④生涯学習施設32館(無人館・山5館を除く)	事業実施	生涯学習施設32館で実施	事業完了前のため、6月上旬を目途に連絡	指定管理料の一部	指定管理料の一部	参加団体数	参加団体数951以上	事業完了前のため、6月上旬を目途に連絡			②生涯学習施設において、学習発表会及び展示事業を実施する。 ③令和7年4月1日～令和8年3月31日 ④生涯学習施設32館(無人館・山5館を除く)	

41		文化政策課	静岡市民文芸	市民から文芸作品を募集する事で発表の機会を提供し、その成果を文芸誌としてまとめ発刊する。	②市民文芸誌の発行及び授賞式の開催 ③5月上旬～9月上旬(応募) 3月上旬(授賞式) ④未定	委託契約の締結	1件	1件	22,776の一部	22,776の一部	応募者数		925	A		②市民文芸誌の発行及び授賞式の開催 ③5月上旬～9月上旬(応募) 3月上旬(授賞式) ④未定	
42	再掲	文化政策課	静岡市民文化祭	市民の文化芸術に関する日頃の活動の成果発表の場及びそれらを鑑賞する機会として、5～6月頃の約1ヶ月間、市内文化施設等を会場に市民文化祭を開催する。一般公募部門もあり、団体に所属していない市民の活動成果の発表の場となっている	②内容：市内6会場において、20団体が出展し、全28事業を開催予定。 ③日時：令和7年5月16日～8月31日 ④会場：静岡市民ギャラリー・静岡音楽館AOI・清水文化会館マリナート ほか	委託契約の締結	1件	1件	7,016	6,998	来場者数/参加者数	12,000	12481人/2582人	A	市民における日頃の文化活動の発表の場として、多くの来場者に文化に触れる機会を提供することができた。	②内容：市内6会場において、20団体が出展し、全28事業を開催予定。 ③日時：令和8年5月13日～10月4日 ④会場：静岡市民ギャラリー・静岡音楽館AOI・清水文化会館マリナート ほか	類似事業との棲み分けを順次行っていく。
43	再掲	文化政策課	静岡市芸術祭	静岡市文化協会に所属する文化団体が、日頃の創作活動の成果を発表し、市民がそれらを鑑賞する機会として、10～11月頃の約1ヶ月間、市内文化施設等を会場に芸術祭を開催する。	②内容：市内9会場において、18団体が出展し、全23事業を開催予定。 ③日時：令和7年9月21日(日)～11月30日(日) ④会場：静岡市民ギャラリー・静岡音楽館AOI・清水文化会館マリナート ほか	来場者数	目標値：14,000人	来場者数：13,708人	6,057	6,057	来場者数	目標値：15,000人	来場者数：13,708人	A	来場者13,708人であり、協会の会員の発表の場の提供や多くの人が芸術文化に気軽に触れる機会を提供できている。	②内容：市内7会場において、19団体が出展し、全23事業を開催予定。 ③日時：令和8年9月27日(日)～11月22日(日) ④会場：静岡市民ギャラリー・静岡音楽館AOI・清水文化会館マリナート ほか	当補助金の中心事業である「静岡市芸術祭」については、毎年多くの来場者数を迎える実績があるものの、本市主催の「静岡市民文化祭」との類似性が高いため、令和8年度は静岡市文化協会との協議を実施し、令和9年度の事業統合を目指す。
44		文化政策課 (静岡音楽館AOI)	音楽分野における支援・育成事業 (「静岡の名手たち」等)	実演家その他の人材を支援・育成する。地域の音楽家の発掘、育成、支援のため「静岡の名手たち」を核に、地元音楽家の活動支援、情報提供、交流事業を実施する。	①第29回「静岡の名手たち」オーディション ②地元ゆかりの若手音楽家を発掘・育成する ③5/3～5/4 ④静岡音楽館	参加者数	設定なし	41人	227,176 (指定管理料の一部)	235,138 (指定管理料の一部)	参加者数	設定なし	41人	A	事業が計画通り円滑に実施され、例年並みの参加者があり、地元ゆかりの若手音楽家を発掘・育成することができたため。	①第29回「静岡の名手たち」オーディション ②地元ゆかりの若手音楽家を発掘・育成する ③5/3～5/4 ④静岡音楽館	引き続き、地域の音楽家の発掘、育成、支援のため「静岡の名手たち」を核に、地元音楽家の活動支援、情報提供、交流事業を実施する。
45		文化政策課	文化団体等への貸館の実施	文化施設で活動を行う文化団体等に貸館を実施する。 文化施設：静岡市民文化会館、清水文化会館、静岡音楽館	文化施設で活動を行う文化団体等に貸館を実施する。 文化施設：静岡市民文化会館、清水文化会館、静岡音楽館	施設利用率：静岡市民文化会館：休館 清水文化会館：70% 静岡音楽館：84%	施設利用率：静岡市民文化会館：休館 清水文化会館：70% 静岡音楽館：84%	施設利用率：静岡市民文化会館：休館 清水文化会館：83.3% 静岡音楽館：81.7%	静岡市民文化会館：休館 清水文化会館：289,153千円の一部 静岡音楽館：227,176千円の一部	静岡市民文化会館：休館 清水文化会館：289,152千円の一部 静岡音楽館：235,138千円の一部	施設利用率：静岡市民文化会館：休館 清水文化会館：70% 静岡音楽館：84%	施設利用率：静岡市民文化会館：休館 清水文化会館：70% 静岡音楽館：84%	施設利用率：静岡市民文化会館：休館 清水文化会館：83.3% 静岡音楽館：81.7%	B	期待を下回っていた	文化施設で活動を行う文化団体等に貸館を実施する。 文化施設：静岡市民文化会館、清水文化会館、静岡音楽館	引き続き多様な主体に利用されるよう、施設の認知向上を推進し、利用者数の拡大と稼働率の向上を図る。
46	再掲	文化政策課 (マリナート)	文化普及事業 (市民参加型事業)	市民の文化活動を促進する文化活動の環境整備事業を展開し、多くの市民が集うことができる場を提供する。	①マリナートBRASSカップin Shizuoka City 2025 ②市内中等学校吹奏楽部によるコンクール形式の吹奏楽公演 ③令和7年6月7日(土) ④マリナート	来場者数	2,000人	2,633人	151,329 (施設全体の運営費)	1,887	来場者数	2,000人	2,633人	S	目標値を大幅に上回ったため。	①マリナートBRASSカップin Shizuoka City 2026 ②市内中等学校吹奏楽部によるコンクール形式の吹奏楽公演 ③令和8年6月5日(金)、6日(土) ④マリナート	目標値を大幅に上回っているため、今後も市民の文化活動を促進する文化活動の環境整備事業を展開し、多くの市民が集うことができる場を提供する。
47	再掲	生涯学習推進課	生涯学習施設での講座等の実施	生涯学習施設において、講座、講演会、公演等を実施する。	②生涯学習施設において講座、講演会、公演等を開催する。 ③令和7年4月1日～令和8年3月31日 ④生涯学習施設32館(無人館・山5館を除く)	事業実施	生涯学習センター1,250回実施 生涯学習交流館1,281回	事業完了前のため、6月上旬を目途に連絡	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講満足度	満足度93.5%以上	事業完了前のため、6月上旬を目途に連絡			②生涯学習施設において講座、講演会、公演等を開催する。 ③令和7年4月1日～令和8年3月31日 ④生涯学習施設32館(無人館・山5館を除く)	
48	再掲	文化政策課 (静岡音楽館AOI)	音楽分野におけるその他の連携事業 「小中学校でのピアノ・ミニコンサート」(どこでもAOI等)	より多くの市民が、クラシック音楽への興味・関心を高められるよう清水区や中山間地等の静岡音楽館から離れた地域、医療施設、福祉施設等でアウトリーチ事業を実施。また、子どものための事業や市民参画の機会、講座や講演会などの事業を実施する。	①アウトリーチ・コンサート、どこでもAOI 等 ②AOI以外の学校や生涯学習施設等で生演奏を体験してもらう ③6/5、9/20、11/12 他 ④静岡中央特別支援学校、興津生涯学習交流館等	来場者数	目標値の設定なし	※未確定のため4月以降入力	227,176 (指定管理料の一部)	235,138 (指定管理料の一部)	来場者数	目標値の設定なし	765人	A	事業が計画通り円滑に実施され、クラシック音楽への興味・関心を高めることができたため。	①アウトリーチ・コンサート、どこでもAOI 等 ②AOI以外の学校や生涯学習施設等で生演奏を体験してもらう ③6/5、9/20、11/12 他 ④静岡中央特別支援学校、興津生涯学習交流館等	引き続き、クラシック音楽への興味・関心を高めるため、事業内容を充実させていくことで、来場者数の増加に努めていく。
49		文化政策課 (静岡科学館)	科学分野における展示体験支援事業	静岡科学館が「みる・さく・さわる」をキーワードとしたHands-onの科学館であることを活かし、常設展示物の体験を通じて科学の不思議さや面白さを市民に伝える。	①オリジナル展示作成及び資料等展示 ②それぞれのテーマに沿った展示作成やパネル・標本等を用いた展示を行う。 ③令和7年4月～令和8年3月	目標設定なし	—	—	214,161 (指定管理料の一部)	214,846 (指定管理料の一部)	—	目標設定なし	—	評価対象外	—	①オリジナル展示作成及び資料等展示 ②それぞれのテーマに沿った展示作成やパネル・標本等を用いた展示を行う。 ③令和8年4月～令和9年3月	引き続きHands-onの科学館であることを活かし、常設展示物の体験を通じて科学の不思議さや面白さを市民に伝える。
50		文化政策課 (静岡科学館)	科学への興味・関心を高める事業	幅広い年代の市民が事業に参加・体験することで、個々の科学的な視点を広げ、科学を生活の中で身近に感じられるようになることを目指し、体験を通じて科学への興味・関心を高めるための多様な事業を実施する。	①サイエンスショー ②身近な科学について楽しく紹介する ③令和7年4月29日(火・祝)～令和7年11月24日(月・祝) ④静岡科学館	入場者数	2,800人	2,879人	214,161 (指定管理料の一部)	214,846 (指定管理料の一部)	入場者数	2,800人	2,879人	A	期待通りの入場者数であったため。	①サイエンスショー ②身近な科学について楽しく紹介する ③令和8年5月2日(土)～令和8年11月23日(月・祝) ④静岡科学館	引き続き、多様なテーマに沿って、身近な事象に含まれる科学的要素を様々な世代が楽しめる機会を提供する。
51		文化政策課 (静岡科学館)	科学への理解を深める事業 (企画展等)	科学への興味・関心を持った市民の更なる知的好奇心に応えるため、企画展、双方向の科学コミュニケーションを重視したサイエンスカフェ、講演会、科学教室等を実施し、幅広い市民に科学技術を多様な角度から紹介する事業を展開する。	①企画展関連事業 ②企画展に関連したワークショップ等 ③令和7年12月27日(土)～令和8年2月11日(水) ④静岡科学館	入場者数	320人	646人	214,161 (指定管理料の一部)	214,846 (指定管理料の一部)	入場者数	320人	646人	S	設置した目標値を大きく上回る入場者数であったため。	①企画展関連事業 ②企画展に関連したワークショップ等 ③令和8年12月26日(土)～令和9年2月7日(日) ④静岡科学館	引き続き、毎年異なった科学事象をテーマとして設定し、通常の展示物では扱うことが難しい現在進行形の科学情報、市民生活と科学のかかわりなどについて、内容を広く、深く提供できるような構成の展示を行う。
52		文化政策課 (静岡科学館)	科学分野における学校連携との連携推進事業	地域の科学文化を地域全体で育てていくため、市内の生涯学習施設や大学・専門研究機関、企業、市民団体等と連携した事業を実施する。また、静岡市美術館、静岡音楽館や生涯学習センターと連携し、市民交流や生涯教育、中心市街地のにぎわいの創出にも貢献する。	①駅前3館プラス1共同事業 ②科学館、音楽館、美術館、歴史博物館の駅前4館で連携して行う事業 ③随時 ④静岡科学館、静岡音楽館、静岡市美術館、歴史博物館	入場者数	230人	205人	214,161 (指定管理料の一部)	214,846 (指定管理料の一部)	入場者数	230人	205人	B	設定した目標値を下回ったため	①駅前3館プラス1共同事業 ②科学館、音楽館、美術館、歴史博物館の駅前4館で連携して行う事業 ③随時 ④静岡科学館、静岡音楽館、静岡市美術館、歴史博物館	静岡駅前文化施設3館及び静岡市歴史博物館で各館の専門性を活かした連携事業を実施することとで、異なるジャンルに興味を持つきっかけを作るとともに、中心市街地の賑わい創出に貢献を目指す。
53		文化政策課 (静岡科学館)	科学分野における学校連携と研修支援事業	幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校・高等学校・大学等と連携し、科学館の教材・ノウハウを活用した事業を実施する。また、家庭環境等により学習機会の少ない子どもに対しての教育支援や、中学生のキャリア教育支援を行う。	①学校等研修支援 ②学校等における教育プログラムの支援 ③随時 ④静岡科学館	入場者数	430人	326人	214,161 (指定管理料の一部)	214,846 (指定管理料の一部)	入場者数	430人	326人	B	設定した目標値を下回ったため	①学校等研修支援 ②学校等における教育プログラムの支援 ③随時 ④静岡科学館	引き続き、これまで培ってきた科学教育のノウハウの共有を図る学校への研修支援を行い、体験型科学教育の理念や科学コミュニケーションの重要性についても教育現場への普及を図る。
54		文化政策課 (静岡科学館)	科学技術と科学文化の担い手育成事業	市民の科学への興味・関心を広げる場を創出し、科学を文化として地域に普及させる人材を育成するために、科学コミュニケーションの資質向上や、次世代の科学振興を担う人材の育成をする。	①科学コミュニケーター育成講座 ②科学コミュニケーターに必要なスキルの習得を目指す育成講座 ③令和7年5月17日(土)～9月7日(日) ④静岡科学館	入場者数	90人	88人	214,161 (指定管理料の一部)	214,846 (指定管理料の一部)	入場者数	90人	88人	A	期待通りの入場者数であったため。	①科学コミュニケーター育成講座 ②科学コミュニケーターに必要なスキルの習得を目指す育成講座 ③令和8年5月16日(土)～9月6日(日) ④静岡科学館	ボランティアや市民科学コミュニケーターの活躍の場を設け、市民とともに科学文化を創造し、科学の担い手育成に努める。
55		文化政策課	静岡市芸術文化奨励賞の授与 (表彰・推薦事業)	芸術文化の振興と向上に寄与する優れた業績を挙げ、将来その一層の発展が望まれるものに對し、静岡市芸術文化奨励賞を授与し市民の文化活動を奨励する。	②静岡市芸術文化奨励賞の授与及び審査会の実施 ③11月(審査会)、11月20日(授賞式) ④静岡市役所静岡庁舎本館3階 議会特別会議室(審査会)・市長応接室(授賞式)	推薦者	3名以上	8名・2団体	360	360	受賞者	1名or1団体以上	3名・1団体	A	推薦者数がR6年度は4名1団体、R5年度は3名であったが、今回は8名2団体であった。	②静岡市芸術文化奨励賞の授与及び審査会の実施 ③未定(審査会)、未定(授賞式) ④未定(審査会)、市長応接室(授賞式)	この賞を取ることを目標に、芸術文化活動に励む人が多くいるとともに、受賞者はその後も個展を実施するなど、文化活動の振興に寄与している。課題点は、奨励賞ではなく功労賞に即期している人も多々見受けられたため、周知を行う。
56	新規	文化政策課	まちかどシアター開催事業	演劇・ストリートシアターが市民にとって身近になるよう、まちのあらゆる場所での日常的な演劇体験を提供する。	②演劇初心者や子ども・家族連れが楽しめる演劇体験の提供。 ③開催日：通年で16回開催 ④会場：芹沢鈺介美術館、登呂博物館、中央図書館、匠宿 など	実施回数	16回	A:期待通りだった	2,010	2,010	参加者アンケートにおいて、「親しい人に勧めたい」と回答した割合	50%	93%	A	目標としていた回数を開催できたため。	②演劇初心者や子ども・家族連れが楽しめる演劇体験の提供。 ③開催日：通年で16回開催 ④会場：未定	今後は地域おこし協力隊にも企画・運営に参画してもらうことで、業務負担の軽減と事業の質の向上を図る。
57	新規	文化政策課	はじめてのコンサート	クラシック音楽の初心者に向けた解説を交えながらコンサートを行うことで、音楽を身近に感じる機会を提供するとともに交響楽への理解と関心を深める。	②クラシック音楽初心者に向けたコンサートを開催 ③令和7年10月4日(土) ④会場：清水文化会館マリナート 大ホール	はじめてのコンサート開催回数	1回	S:期待を上回っていた	27,318千円の一部	26,642千円の一部	はじめてのコンサート来場者数	500	458人	A	今年度開始の事業でまだ市民に浸透していない状態であるが、訪問コンサートで静響を知った学生を中心に多くの市民の来場があったため。	②クラシック音楽初心者に向けたコンサートを開催 ③令和8年9月26日(土) ④会場：清水文化会館マリナート 大ホール	開催直前まで集客に伸び悩んだが、観客の反応やアンケートの結果は良かったため、今後定着させていくことを目標に継続していく。

1 歴史に彩られた個性豊かな文化の創造															
1 文化をはぐくむ人づくり															
1 多様な選択肢の提供															

施策2 次世代の育成及び活動支援															
事業No.	再掲	所管課名	事業概要(全体)		活動の状況			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)			評価及び次年度以降に向けた課題・改善など		
			事業名	事業目的	令和7年度 実施内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	令和7年度 予算額(千円)	令和7年度 決算額(千円)	指標名	当該年度の目標値	実績値	評価	評価理由
1	再掲	生涯学習推進課	生涯学習施設での文化に関する講座等の実施	生涯学習施設において、文化に関する講座、講演会、公演等を開催する。	②生涯学習施設において、文化に関する講座、講演会、公演等を開催する。 ③令和7年4月1日～令和8年3月31日 ④生涯学習施設32館(無人館・山5館を除く)	事業実施	生涯学習施設32館で実施	事業完了前のため、6月上旬を目途に連絡	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講満足度	満足度94.1%以上	事業完了前のため、6月上旬を目途に連絡		②生涯学習施設において、文化に関する講座、講演会、公演を開催する。 ③令和7年4月1日～令和8年3月31日 ④生涯学習施設32館(無人館・山5館を除く)
2		産業振興課	地場産品体験学習事業	子ども達に、ものづくりと地場産業への関心と理解を深めてもらうため、市内の小学校等に通う児童が、授業内で駿府匠宿を利用して地場産業や伝統産業について学習する際に、体験料を補助する。	②市内の小学校に通う児童に対して、駿府匠宿での地場産業や伝統産業を学習する際に体験料を補助した。 ③随時募集 ④静岡市工芸と歴史の体験施設「駿府匠宿」	申請学校数	40校	35校	4,950	4,673	体験学習した児童が地場産業に興味を持ったと答えた人の割合	100%	100%	B	成果指標の目標値を期待どおり達成できなかったため。 ②市内の小学校に通う児童に対して、駿府匠宿での地場産業や伝統産業を学習する際に体験料を補助する。 ③随時募集 ④静岡市工芸と歴史の体験施設「駿府匠宿」
3		中央図書館	学校協力貸出し	小中学校の総合学習や調べ学習を支えるため、適切な資料の提供による学習支援を行う。	①名称:事業名と同じ ②内容:総合学習や調べ学習を行う小中学校への資料提供 ③期間:令和7年度 ④会場:市立図書館	12歳以下の子どもひとりあたりの児童図書蔵書冊数	9冊以上/人	9.42冊/人	27,597	27,514	協力貸出冊数	15,000冊	17,937冊	S	学校との連携のもと目標冊数を上回る協力貸出を実施し、学校教育を支える学習支援事業として成果を上げることができた。
4		農業政策課	お茶の美味しい入れ方教室	市内小学校5・6年生を対象に、日本茶インストラクターを講師とした「お茶の美味しい入れ方教室」を実施する。	①事業名と同一 ②市内小学校にて「お茶の美味しい入れ方教室」の実施 ③令和7年10月から令和8年2月まで ④市内小学校	希望するすべての学校で実施	70校で実施	72校で実施	3,618	3,087	今後静岡市のお茶を飲みたい児童の割合(実施後アンケート)	80%以上	83.7%	A	お茶の美味しい入れ方教室の実施後アンケートにおける、今後静岡市のお茶を飲みたい児童の割合が80%以上
5		文化政策課	こども園訪問コンサート	市内のこども園等を訪問するコンサートを開催し、これまで文化に馴染みのなかった幼少期の子どもたちに生演奏を鑑賞する機会を提供し、文化に親しむきっかけとしてもらう。	②市内のこども園等を訪問するコンサートを開催 ③未定 ④市内こども園	こども園コンサート実施園数	14園	19園	27,318千円の一部	26,642千円の一部	事業奨励度(開催後アンケート:「またこの事業に応募したい」の割合)	90%	100%	S	目標を大きく上回る実施数となったこと及び開催後アンケートで高い評価を獲得していることから、子どもたちが生演奏を鑑賞し文化に親しむ機会を多く提供できたため。
6		文化政策課	学校訪問コンサート	34人及び52人編成のプロオーケストラが市内小中学校を訪問し、生演奏を行う。広く市内の子どもたちに迫力ある演奏の鑑賞体験を提供し、文化に親しむ機会を創出する。	②市内の学校を訪問するコンサートを開催 ③未定 ④市内学校・特別支援学校	学校訪問コンサート実施校数	8校	8校	27,318千円の一部	26,642千円の一部	公演満足度(来場者アンケート:「またこの事業に応募したい」の割合)	90%	100%	S	開催後アンケートで高い評価を獲得していることから、子どもたちが本格的なオーケストラによる質の高い演奏を鑑賞し文化に親しむ機会を提供することができたため。
7		文化政策課	親子クラシックコンサート	親子で気軽に音楽を楽しむことができる機会を提供することにより、文化活動に興味関心を高め、乳幼児を含む親子が入場可能なプロオーケストラによるコンサートを開催する。	①0歳から入れる親子クラシックコンサート ②6月15日 ③静岡市民文化会館 清水文化会館マリナート 大ホール	親子コンサート開催回数	2回	2回	27,318千円の一部	26,642千円の一部	公演満足度(来場者アンケート:「とても良かった」・「良かった」の割合)	90%	97%	S	例年多くの申込がある人気の高い事業であり、アンケートでたいへん高い満足度を獲得していることから、親子で気軽に音楽を楽しむ文化活動への興味関心を高める機会を提供できたため。
8		観光国際課(静岡市東海道広重美術館)	教育普及事業	美術に対する関心を高め、鑑賞の機会を増やすための教育普及事業を実施する。	美術に対する関心を高め、鑑賞の機会を増やすための教育普及事業を実施する。 ①学校団体向け展示解説 ②小中学校向け出張講座	実施回数	①随時 ②7回	①随時 ②8回	36,263千円の内数	36,263千円の内数	延べ参加者人数	684人(R6実績)以上	①213人 ②147人 延べ参加者人数360人	B	前年度実績を大幅に下回る結果となったことからB評価とした。 ①学校団体向け展示解説 ②出張講座 ※ 施設改修に伴い、6月以降休館するため事業休止
9	再掲	文化政策課(静岡音楽館AOI)	音楽分野における公演等事業(「コンサートシリーズ」等)	静岡音楽館ホールの音響特性を活かした「コンサートシリーズ」を事業の核として実施。その他、独創的な公演、特定のジャンルに偏らない多彩な公演、だれもが気軽に音楽を鑑賞できる公演、パイプオルガン等音楽館所有楽器を活用した市民に親しんでもらう公演を実施する。	①コンサートシリーズ ②ジャンルに偏らず多彩な公演を実施し、音楽へ親しむ環境を提供する ③令和7年度 ④静岡音楽館	入場者数	6,320人	※未確定のため4月以降入力	227,176(指定管理料の一部)	235,138(指定管理料の一部)	入場者数	6,320人	5,362人	B	入場者数について目標値を下回ったため。 ①コンサートシリーズ ②ジャンルに偏らず多彩な公演を実施し、音楽へ親しむ環境を提供する ③令和7年度 ④静岡音楽館
10	再掲	文化政策課(静岡音楽館AOI)	音楽分野における普及振興事業(「子どものための音楽ひろば」等)	子どもたちに本物に触れる機会を提供するとともに、音楽分野における幅広い経験を通して豊かな感性を養うことの出来るような体験機会を提供する。	①第26期「子どものための音楽ひろば」 ②小学4年生から中学3年生までの子どもを対象とした音楽に親しむための講座 ③1年間で全24回実施 ④静岡音楽館	受講者数	35人	37人	227,176(指定管理料の一部)	235,138(指定管理料の一部)	受講者数	35人	37人	S	目標値を上回っているため ①第26期「子どものための音楽ひろば」 ②小学4年生から中学3年生までの子どもを対象とした音楽に親しむための講座 ③1年間で全24回実施 ④静岡音楽館
11	再掲	文化政策課(静岡市美術館)	美術分野における学校連携と研修支援事業	美術の楽しさ、奥深さを市民に伝えるため、講座、講演会に加えミュージアムコンサートやアーティストに学ぶ機会を創出する。	(1)①イベント名称:ミュージアム教室 ②内容:展覧会の理解を深めるため、児童、生徒及び学生に学芸員が解説を行う ③期間:展覧会期間中(企画展5回/年) (2)①イベント名称:展とあそぶワークショップ ②内容:祭事や年中行事に関するものを作成する ③開催日:5/3～5/4、12/14 (3)①イベント名称:プレゼントワークショップ ②内容:記念日にあわせてプレゼントを作成する ③開催日:11/29、11/30 (4)①イベント名称:しずびチビッコプログラム ②内容:未就学児を対象各展覧会関連のアートプログラム ③開催日:7/13、9/13、11/16、3/20 (5)①イベント名称:しずびオープンアトリエ ②内容:展覧会に即したワークショップ ③開催日:8/21～8/31、2/14～3/15、 (6)①イベント名称:おうちで!しずびオープンアトリエ ②内容:展覧会に即したワークショップを自宅で実施できるよう、キットの貸出及び動画配信を行う。 ③開催日:通年 (1)～(5)の④会場はいずれも静岡市美術館	入場者数	(1)設定なし (2)56人 (3)24人 (4)80人 (5)280人 (6)80人	(1)1,959人 (2)65人 (3)26人 (4)108人 (5)487人 (6)28人	262,528(指定管理料の一部)	260,683(指定管理料の一部)	入場者数	(1)設定なし (2)56人 (3)24人 (4)80人 (5)280人 (6)80人	(1)1,959人 (2)65人 (3)26人 (4)108人 (5)487人 (6)28人	S	期待を上回っていた ①①イベント名称:ミュージアム教室 ②内容:展覧会の理解を深めるため、児童、生徒及び学生に学芸員が解説を行う ③期間:展覧会期間中 (2)①イベント名称:展とあそぶワークショップ ②内容:祭事や年中行事に関するものを作成する ③開催日:12/13 (3)①イベント名称:プレゼントワークショップ ②内容:記念日にあわせてプレゼントを作成する ③開催日:10/17、10/18 (4)①イベント名称:しずびチビッコプログラム ②内容:未就学児を対象各展覧会関連のアートプログラム ③開催日:未定(展覧会ごとに1日2回実施) (5)①イベント名称:しずびオープンアトリエ ②内容:展覧会に即したワークショップ ③開催日:8/7～8/16、2/13～3/14 (6)①イベント名称:おうちで!しずびオープンアトリエ ②内容:展覧会に即したワークショップを自宅で実施できるよう、キットの貸出及び動画配信を行う。 ③開催日:未定 (1)～(5)の④会場はいずれも静岡市美術館
12		文化政策課(静岡市美術館)	美術分野における交流事業	「街にひらかれた美術館」を目指し「ちょっと面白い街のなかの広場」のような美術館として、中心市街地の賑わいの創出に貢献する。「交流ゾーン」を活用したミュージアムコンサートや現代のアートシーンの紹介等を実施する。	(1)①イベント名称:Shizubiシネマアワー ②内容:各展覧会に関連した映画を上映する ③開催日:5/6、3/7～3/8 (2)①イベント名称:静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業 ②内容:展覧会に即した講座、ミュージアムコンサートなど ③開催日:6/29、9/28 (1)～(2)の会場は静岡市美術館	入場者数	(1)120 (2)設定なし	(1)150人 (2)96人	262,528(指定管理料の一部)	260,683(指定管理料の一部)	入場者数	(1)120 (2)設定なし	(1)150人 (2)96人	S	期待を上回っていた ①①イベント名称:Shizubiシネマアワー ②内容:各展覧会に関連した映画を上映する ③開催日:未定 (2)①イベント名称:静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業 ②内容:展覧会に即した講座、ミュージアムコンサートなど ③開催日:未定 (1)～(2)の会場は静岡市美術館
13	再掲	文化政策課(静岡科学館)	科学分野における学校連携と研修支援事業	幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校・高等学校・大学等と連携し、科学館の教材・ノウハウを活用した事業を実施する。また、家庭環境等により学習機会の少ない子どもに対しての教育支援や、中学生のキャリア教育支援を行う。	①学校等研修支援 ②学校等における教育プログラムの支援 ③随時 ④静岡科学館	入場者数	430人	326人	214,161(指定管理料の一部)	214,846(指定管理料の一部)	入場者数	430人	326人	B	設定した目標値を下回ったため ①学校等研修支援 ②学校等における教育プログラムの支援 ③随時 ④静岡科学館
14		文化政策課(マリナート)	文化教育事業	子どもへの鑑賞機会を提供するため、小さい子ども連れでも楽しめる公演・展示事業を開催する。教育委員会及び市内の子ども向け公共施設(る・くる、ま・あ・る等)と連携した事業を展開する。	①しまじろうコンサート ②ファミリー向けコンサート ③令和7年8月11日(月・祝) ④マリナート	来場者数	1,500人	1,500人	151,329(施設全体の運営費)	63	来場者数	1,500人	1,500人	A	期待どおりの目標値であったため。 ①しまじろうコンサート ②ファミリー向けコンサート ③令和7年8月11日(月・祝) ④マリナート
15		文化政策課(マリナート)	文化教育事業(コンクール事業)	次世代の文化の担い手となる若手の育成支援のため、学校連携を図りながら、若手の演奏の場の提供を行う。	①マリナートBRASSカップin Shizuoka City 2025 ②市内中高等学校吹奏楽部によるコンクール形式の吹奏楽公演 ③令和7年6月7日(土) ④マリナート	来場者数	2,000人	2,633人	151,329(施設全体の運営費)	1,887	来場者数	2,000人	2,633人	S	目標値を大幅に上回ったため。 ①マリナートBRASSカップin Shizuoka City 2026 ②市内中高等学校吹奏楽部によるコンクール形式の吹奏楽公演 ③令和8年6月5日(金)、6日(土) ④マリナート
16		文化政策課(芹沢銈介美術館)	芹沢銈介の顕彰(芹沢銈介美術館)	学芸員が芹沢銈介の功績についての講座を実施し、芹沢銈介の功績をたたえ作品への理解を深め、芹沢芸術を永く後世に伝える。	高等学校や美術館等の依頼に応じ、芹沢銈介の生涯や作品の魅力について講座を実施する。	実施回数	3回	10回	45,406千円の一部	45,406千円の一部	参加者数	100人	365人	S	講座の依頼が多く、目標値を上回る市民等に芹沢銈介の偉業や美術館の魅力を伝えることができたことからSとした。

12		農業政策課	駿府本山お茶まつり事業	静岡本山茶の振興を図るため、関係団体が連携し、静岡本山茶に関する文化、歴史的考察を含めた各種イベント等を実施する事業に対し助成する。	①駿府本山お茶壺道中行列「茶詰めの儀」 ②故事にならって静岡本山茶を茶壺に入れ封印する儀式 ③令和7年5月31日(土) ④静岡市歴史博物館 ①-2駿府本山お茶壺道中行列・口切りの儀 ②-2春に静岡本山茶を詰め保管・熟成させた茶壺を井川大日峠お茶蔵より蔵出しし、久能山東照宮へ奉納 ③-2令和7年10月19日 ④-2久能山東照宮 ①-3駿府本山茶のお茶まつり ②-3「静岡本山茶」の消費拡大を図るため、販売イベントの開催 ③-3令和7年11月1日～3日 ④-3静岡市歴史博物館屋外スペース	補助金の交付		事業実施	事業実施	3,000	2,946	事業実施	事業実施	事業実施	A	補助金の交付により、本山茶の振興に関する全事業が実施できた	①駿府本山お茶壺道中行列「茶詰めの儀」 ②故事にならって静岡本山茶を茶壺に入れ封印する儀式 ③令和8年5月下旬 ④静岡市歴史博物館 ①-2駿府本山お茶壺道中行列・口切りの儀 ②-2春に静岡本山茶を詰め保管・熟成させた茶壺を井川大日峠お茶蔵より蔵出しし、久能山東照宮へ奉納 ③-2令和8年10月下旬 ④-2久能山東照宮 ①-3駿府本山茶のお茶まつり ②-3「静岡本山茶」の消費拡大を図るため、販売イベントの開催 ③-3令和8年11月上旬 ④-3未定	令和9年度から、定額補助→定率(1/2)補助への変更について検討指示を受けており、事業実施のための自己資金確保が課題。
13		文化政策課	文化芸術アトリーチプログラム事業	市内で活動している文化団体等と連携し、子どものうちから様々な分野の文化芸術に親しむ機会を設け、文化芸術に対する理解及び関心を高めるため、市内小中学校、こども園等を訪問し、気軽に文化芸術に触れることができる機会を提供する。	①文化団体等がこども園等の施設を訪問し、気軽に文化芸術に触れることができる機会の提供 ②未定 ③静岡市内のこども園、放課後子ども教室、こども食堂等	実施回数	19回	19回	6000	5877	観覧者数	1200	1427	A	文化芸術創造拠点事業に呼応して、演劇を10回実施するなど、前年度に比べ意欲的な内容の変更があった。	①文化団体等がこども園等の施設を訪問し、気軽に文化芸術に触れることができる機会の提供 ②未定 ③静岡市内のこども園、放課後子ども教室、こども食堂等	認知度が足りないことが課題である。教育施設関連の対象者により、この事業が伝わる広報を行う必要がある。	
14	再掲	文化政策課 (マリナート)	文化芸術継承発展事業	地域連携による回遊性の向上を図るため、地域の商店街や施設と連携した事業により、集客はもとより観光誘致を視野に、清水駅周辺の回遊性を向上させる事業を展開する。	①第13回 清水にぎわい落語まつり ②清水駅周辺の街の活性化と伝統芸能である落語の普及を目的とする事業 ③令和7年10月11日(土)～13日(月・祝)	来場者数	1,800人	2,069人	151,329 (施設全体の運営費)	7,840	来場者数	1,800人	2,069人	S	目標値を大幅に上回ったため。	①第14回 清水にぎわい落語まつり ②清水駅周辺の街の活性化と伝統芸能である落語の普及を目的とする事業 ③令和8年10月10日(土)～12日(月・祝)	目標値を大幅に上回っているため、今後も地域連携による回遊性の向上を図るため、地域の商店街や施設と連携した事業により、集客はもとより観光誘致を視野に、清水駅周辺の回遊性を向上させる事業を展開する。	

1 歴史に彩られた個性豊かな文化の創造

2 文化ははぐくむ地域づくり

1 地域の魅力向上

施策4 しずおか文化等の保存・継承及び活用

事業No.	再掲	所管課名	事業概要(全体)		活動の状況			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)		評価及び次年度以降に向けた課題・改善など					
			事業名	事業目的	活動指標(アウトプット指標)	指標名	当該年度の目標値	実績値	事業費		成果指標(アウトカム指標)		評価理由	令和8年度 実施予定内容	今後の課題と課題解決に向けた取組内容		
									令和7年度 予算額(千円)	令和7年度 決算額(千円)	指標名	当該年度の目標値				実績値	
1		産業振興課	伝統工芸技術アーカイブス事業	地元伝統工芸技術のうち後継者不在等により消失の危機に直面する高い技術や技法を、映像化等によりアーカイブし保存、継承していく。	②地元伝統工芸の高い技術のアーカイブ ③通年 ④地元伝統工芸工房等	アーカイブの撮影本数	1件	1件	1,290	1,108	R6までのアーカイブ映像の貸出実績	1件	0件	A	成果指標の目標値を期待どおり達成できたため。	②令和元年度から令和7年度までの事業において熟練技術者の技術保存を完遂。今後は、過去のアーカイブ事業の成果物を活用していく取組を行っている。	伝統工芸保存講習会など、他団体が主催する技術継承の取組に関与して、アーカイブ成果品の活用を促していく。
2		中央図書館	地域資料の収集及び保存	地域資料の収集・保存を通じて、地域文化の振興に寄与する。	①名称:事業名と同じ ②内容:各図書館の特色に沿った地域に関する資料を収集・保存 ③期間:令和7年度 ④会場:市立図書館	当該年度の地域資料新規登録点数	1,908点(令和6年度実績)	1,591点	—	—	当該年度末の地域資料の総登録点数	97,280点	97,273点	A	地域資料の収集・保存を継続的に進めることで、地域文化の振興に資する資料基盤の充実を図ることができた。	①名称:事業名と同じ ②内容:各図書館の特色に沿った地域に関する資料を収集・保存 ③期間:令和8年度 ④会場:市立図書館	長期的な視点から郷土資料の収集保存をすすめるにあたり、本格的なデジタル化を見据えてアーカイブの基盤整備を進める。
3		歴史文化課 (静岡市歴史博物館)	静岡市歴史博物館学習支援事業	市民団体、ボランティア、教育機関、美術館、博物館、周辺施設など、様々な組織と連携・協働し、博物館事業における市民参画を推進し、学習支援を行う。	①事業名と同一 ②市民団体、ボランティア、教育機関、博物館、周辺施設など、様々な組織と連携・協働し、博物館事業における市民参画を推進し、学習支援を行う。 ③通年 ④静岡市歴史博物館	教育普及実施者数	26,200人	4月末日をめどに連絡	指定管理料 338,463千円の一部	(5月下旬に確定)	教育普及実施者数	26,200人	5月末日をめどに連絡	A	豊富な種類の教育普及事業を実施することで、2月未時点でも目標を達成しているため。	市民団体、ボランティア、教育機関、博物館、周辺施設など、様々な組織と連携・協働し、博物館事業における市民参画を推進し、学習支援を行う。	
4		歴史文化課	三保松原保全活用事業	富士山世界文化遺産の構成資産としての三保松原を後世に引き継ぐため、松原の保全と活用の調和がとれた事業の調整と推進を図る。	①(1)マツ材線虫病防除事業、②松原保全に関する講座開催 ②(1)虫を媒介した病気による松枯れから三保松原の松林を守るため、健全木に対して薬剤を散布し殺虫する。 ②職員による講座9回、出前講座、専門家を招いての講演会等を開催 ③令和7年度 ④(1)三保グラウンドゴルフ場～三保飛行場・旧東海大学付属小～瀬織戸神社・神の道・羽衣の松周辺 ②生涯学習施設、みほしるべ等	(1)マツ材線虫病防除事業の実施 (2)松原保全に関する講座を開催数	(1)実施 (2)5回	(1)実施 (2)12回開催	79,737	79,352	(1)マツ材線虫病によるマツ枯れ本数 (2)松原保全ボランティアの参加人数	(1)マツ材線虫病によるマツ枯れ1本/h以下 (2)6,000人	(1)6月末日を目途に連絡 (2)4月末日を目途に連絡			①(1)マツ材線虫病防除事業、②松原保全に関する講座開催 ②(1)虫を媒介した病気による松枯れから三保松原の松林を守るため、健全木に対して薬剤を散布し殺虫する。 ②職員による講座9回、出前講座、専門家を招いての講演会等を開催 ③令和8年度 ④(1)三保グラウンドゴルフ場～三保飛行場・旧東海大学付属小～瀬織戸神社・神の道・羽衣の松周辺 ②生涯学習施設、みほしるべ等	広大な松林を維持していくためには、定期的な雑木除去、下草刈り等が必要であるが、人工や経費が不足している。引き続き、保全ボランティアと連携し、松林を管理していく。
5		歴史文化課	史跡小島陣屋跡保存整備事業	平成18年度に国指定史跡に指定された小島陣屋跡は、江戸時代中期に築造された小島藩の陣屋跡である。石垣と御殿書院が残る小島陣屋跡(平成18年に国史跡に指定)の価値を保存し活かすための整備を行う。	①便益施設整備工事 ②史跡東側急傾斜地対策工事2年目 ③御殿書院管理運営	①便益施設整備工事の実施 ②急傾斜地対策工事の実施(2年目) ③史跡・御殿書院におけるイベントの実施回数	①完了 ②完了 ③2回	①3月完了 ②3月完了 ③2回	178,879	155,154	①整備全体の進捗<率 ②史跡・書院の来訪者数	①60% ②3,000人	4月中旬を目途に連絡	A	令和6年度までの工事完了は整備全体の約60%であった。史跡・書院の来訪者数は目標値をやや上回り、整備と活用が順調と評価できることから評価結果をAとした。	①便益施設整備工事 ②史跡東側急傾斜地対策工事2年目 ③御殿書院管理運営	文化庁と協議のもと確実に整備工事を進めるとともに、史跡の価値をより多くの人と共有し静岡市の歴史文化の継承と交流の場となる活用を実施していく。
6		歴史文化課	史跡駿河国分寺跡保存整備事業	昭和40年に国史跡に指定された駿河国分寺跡(旧・片山廃寺跡)は、奈良時代の重要な古代寺院跡である。この静岡平野の古代仏教文化の中心となった駿河国分寺の価値を未来に伝える史跡公園とすることを目的とし、保存・整備・活用を進めていく。	①民有地の公有地化 ②整備委員会の開催	①用地買収の契約件数 ②整備委員会の開催回数	①1件 ②1回	①1回 ②1回	19,126	14,282	公有地化率	40.89%	40.66%	A	史跡指定地内における公有地化対象の民有地の面積(公有地化率算出の分母)が、令和7年9月の追加指定により増加したこと、令和7年度公有地化対象地の実測面積が公算面積を下回ったことにより、実績値が目標値を下回ったが、実績値は目標値の約99%であったことから、評価結果をAとした。	①民有地の公有地化 ②整備委員会の開催	史跡の本格整備への着手は公有地化完了後となるが、指定地内の民有地をすべて公有地化するにはさらに数十年を要することになるため、公有地化の対象範囲を伽藍区域内に限定するなど、整備を前提に公有地化計画を再検討する。
7		歴史文化課	駿機山古墳石室石材剥離修繕事業	駿機山古墳は6世紀の王墓で、全国的に重要な古墳であるとして昭和29年に国史跡に指定された。平成5～8年にかけて石室・墳丘の復元整備が行われたが、近年雨水浸入等の影響から石材の剥離・ヒビが進行しているため、石室修繕・雨水の浸入対策を実施し、文化財の保護を行う。	①保存活用計画策定	保存活用計画策定	完了	完了	1,223		2期整備事業の進捗率	20%	20%	A	予定通り、史跡駿機山古墳保存活用計画を策定・刊行したことから、評価結果をAとした。	実施設計完了	史跡駿機山古墳保存活用計画に基づき、有識者からの意見聴取・文化庁との協議を実施しながら、2期整備事業を進めていく。
8		歴史文化課	史跡久能山保存修理事業	史跡久能山の来訪者の安全を確保し、史跡の恒久的な保存と活用を促進するために、き損している箇所の整備工事を実施する	山上トイレ建て替え(R7～8年度)	R7年度補助事業の完全実施	補助事業の完全実施	実施	23108	23108				S	史跡久能山の整備について、計画どおり実施中	山上トイレ建て替え(R7～8年度)	長期にわたる事業であるため、計画の前倒し等柔軟に対応する
9		歴史文化課	(重文)神部神社浅間神社大蔵御祖神社本殿ほか15棟建造物保存事業	神部神社浅間神社大蔵御祖神社本殿ほか15棟が国の重要文化財に指定されている。昭和の修理(昭和55年)から30年以上が経過し、経年劣化が激しくなったため、大規模修繕を行う必要があり、平成26年より185ヶ月かけて平成・令和の大修理を実施し、貴重な文化財を後世に継承していくもの。	神部神社浅間神社大蔵御祖神社本殿ほか15棟が国の重要文化財に指定されている。昭和の修理(昭和55年)から30年以上が経過し、経年劣化が激しくなったため、大規模修繕を行う必要があり、平成26年より185ヶ月かけて平成・令和の大修理を実施し、貴重な文化財を後世に継承していくもの。	R7年度補助事業の完全実施	補助事業の完全実施	実施	30,000	30,000	補助事業の完遂	実施	実施	S	重要文化財建造物の保存修理について計画どおり実施中	神部神社浅間神社大蔵御祖神社本殿ほか15棟が国の重要文化財に指定されている。昭和の修理(昭和55年)から30年以上が経過し、経年劣化が激しくなったため、大規模修繕を行う必要があり、平成26年より185ヶ月かけて平成・令和の大修理を実施し、貴重な文化財を後世に継承していくもの。	長期にわたる事業であるため、工期延長等柔軟に対応する必要がある。
10		歴史文化課	国登録有形文化財「旧マッケンジー住宅」再生活用事業	「旧マッケンジー住宅」を保存し、将来に向かって活用していくために、耐震化と老朽化に対する修繕を実施し、文化財としての価値を保存・継承していく。また、隣接する市有地と合わせて民間活力導入にて事業を実施し、一帯利用と共に住宅の利活用を図る。	①貸付契約の締結 ②旧マッケンジー住宅再オープン ③貸付料の歳入	①貸付契約の締結 ②旧マッケンジー住宅の供用開始 ③貸付料の歳入	①完了 ②完了 ③完了	①6月完了 ②3月完了 ③7月完了	0	0	貸付料の歳入	12、600千円	12、600千円	A	貸付契約の締結、貸付料の歳入、施設のオープンと当該年度の目標値を達成したため。	①「HOMAM旧マッケンジー邸」が稼働し集客を行う。 ②貸付料を歳入する。 ③施設の運営について民間事業者と協議・調整を行う。	文化財の保存と活用には、地域住民、民間事業者、行政の三者の連携が必要である。地域住民を巻き込むくみづくりが課題である。
11		歴史文化課	埋蔵文化財センターテーマ展	歴史文化課が保管する膨大な市内各遺跡の発掘調査資料を活用して、出土品の魅力に触れてもらえるよう、テーマを設定して展示公開を行う。	テーマを設定して企画展を催し、収蔵資料を公開、発掘調査の成果を発信する。 第1回:指定文化財展、発掘された静岡市の宝 5月下旬～7月下旬 第2回:静岡市文化財展(発掘速報展) 8月～9月中旬(別掲) 第3回:未定 2月～3月	テーマ展開催回数	2回	2回	50	16	2回開催期間中來館者数	700人	706人	A	テーマ展開催を広報等に掲載して告知するとともに、他館と連携して展示を行い、来訪者が目標とほぼ同等だった。	テーマを設定して企画展を催し、収蔵資料を公開、発掘調査の成果を発信する。 第1回:指定文化財展、発掘された静岡市の宝 5月下旬～7月下旬 第2回:静岡市文化財展(発掘速報展) 8月～9月中旬 第3回:未定 2月～3月	各テーマ展ごとにギャラリートークを行うことや興味を引くテーマで展示を行う。
12		歴史文化課	文化財展	前年度に実施した埋蔵文化財発掘調査をはじめとする文化財保護事業の成果について、埋蔵文化財センターや登呂博物館など市内を巡回する速報的な展示会を開催し、市内の文化財の魅力を発信する。	埋蔵文化財センター:8月1日～9月中旬 登呂博物館:12月13日～1月18日	開催会期数	2期	2期	390	89	①センター開催中來館者数 ②展示関連イベント参加者	①300人 ②30人	①312人 ②40人	A	展示関連イベントとして、新たに本物の土器に触れる展示会を行って、親子連れなど新しい客層を含め来訪者増となったため。	埋蔵文化財センター:8月1日～9月中旬 登呂博物館:12月13日～1月18日	展示と共に興味を引く新たなイベントの企画と実施が必要。

1		産業振興課	ホビーマち推進事業	「模型を活かしたまちづくり」を推進するため、ホビーマちの情報発信基地「静岡ホビースクエア」の施設管理を行うとともに、模型業界を中心に構成された「ホビーマち推進協議会静岡」が行う各種事業に対して補助金を交付し、交流人口の拡大を目指す。	①静岡ホビースクエア施設維持管理 ②ホビーマち推進協議会静岡への補助金交付 補助対象事業 ・静岡ホビースクエアでの情報発信事業 ・クリスマスフェスタの開催 ・ホビーマち静岡HPの運営 ・ホビーマち静岡イベントPR事業 など	補助金の交付 クリスマスフェスタ開催周知協力 各種施設維持契約の締結	実施	実施	78,217	77,831	ホビーマち静岡の認知度	80%	89.5%	S	成果指標の目標を、期待を上回る数値で達成できたため。	①静岡ホビースクエア施設維持管理 ②ホビーマち推進協議会静岡の支援 ■静岡ホビースクエアの運営 ■クリスマスフェスタの開催 ■ホビーマち静岡HPの運営 ■ホビーマち静岡イベントPR事業 など	①静岡ホビースクエアの施設管理 開館以来、大規模な内容見直しが行われていないため、来場者数が順次減少（3万人）となっているとともに、老朽化により、施設修繕費等が増加していることが課題である。 今後、展示内容の見直しや静岡科学館「く・る」との連携による模型ファン以外への訴求活動を行う。 ②クリスマスフェスタ及びイベント クラフト作家のブース出展増加や、全国プラモデル選手権大会の参加校増加を踏まえ、静岡ホビーマちショールーム、タミヤフェアなど市内大型ホビーマちイベント全体の開催時期、場所などを検討する必要があることが課題である。今後、市内ホビーマちイベント全体の将来的な枠組みをホビーマち推進協議会静岡と協議していく。
2		農業政策課	「お茶のまち静岡市」HP・FB活用事業	ウェブサイト「お茶のまち静岡市」ホームページとフェイスブックを活用し、お茶に関わる様々な情報を発信する。	①事業名と同一 ②各種イベントと連動してウェブサイトを活用 ③通年	事業実施	事業実施	事業実施	935	341	お茶のまち静岡市の周知	事業実施	事業実施	A	各種イベントと連動してウェブサイトを活用することができた	①事業名と同一 ②各種イベントと連動してウェブサイトを活用 ③通年 ④なし	
3		観光国際課	お茶ツーリズム推進事業	来静者等の受入れに積極的な茶農家・茶商等を対象とした講習会の開催とお茶ツーリズム相談受付窓口を設置する。	・茶畑ガイドの育成に引き続き取り組み、茶農家5軒、ガイド15人の育成を目指す。 ・茶農家のトイレ改修やキャッシュレス対応などに対する補助金制度を創設し、受入環境整備を促進する。	①茶畑ガイド参加茶農家数 ②受入環境整備実施農家数	①5軒 ②10軒	①6軒 ②11軒	10,000	7,962	①茶畑ガイドシステム売上金額 ②体験料上昇率	①2,000千円 ②110%	①3,000千円 ②120%	A	目標数値を上回ったため	①予約システムを構築し、効率化を図るとともにPRを実施することで、更なる売上を増やす。 ②対象を茶農家から茶業関係者へ拡充する。	お茶ツーリズムを体験できるのが中山間地が多く、予約の増加に伴い、手配にボトルネックが起き始めている。 そこで予約のシステムの開発と共に、補助金の対象者を茶業関係者を増やすことで市内全域のお茶ツーリズムを促進する。
4	再掲	歴史文化課	文化財特別公開事業	修理等に補助金を支出した文化財を中心に、通常公開を行っていない市内の文化財について期間限定での公開を行うことで、本市の文化財の魅力を発信するとともに、文化財保護意識の醸成を図る。	①静岡市文化財特別公開事業 ②市内の文化財を、一定期間特別に公開する。 ③令和7年10月～11月 ④静岡浅間神社ほか	①事業の実施 ②公開箇所数	①実施 ②10箇所	①実施 ②10箇所	0	0	公開箇所数	10箇所	10箇所	A	目標の公開箇所数を達成できた。	①静岡市文化財特別公開事業 ②市内の文化財を、一定期間特別に公開する。 ③令和8年10月～11月 ④静岡浅間神社ほか	若年層の来場促進のため、SNSを活用した告知に励む。
5	再掲	歴史文化課	登呂博物館の管理運営	特別史跡登呂遺跡の歴史的価値を発信するため、復元された遺跡や重要文化財775点を含む約3万点の出土資料の保存・活用するとともに、弥生時代や古代に関する企画展を開催する。	①企画展・特別展の開催、体験・イベント等の実施 ②登呂遺跡、弥生時代や古代に関する企画展の開催、登呂遺跡・登呂博物館での体験・イベント等の実施 ③令和7年度 ④登呂博物館	企画展・特別展の実施	年4回	春季企画展 令和7年4月26日(土)～6月29日(日)≪65日間≫10,421人 夏季企画展 令和7年7月19日(土)～9月15日(月祝)≪51日間≫6,744人 秋季企画展 令和7年10月4日(土)～12月7日(日)≪56日間≫6,346人 冬季企画展 令和8年1月10日(土)～3月22日(日)≪61日間≫●人(4月中旬を目途に連絡)	48,492	48,492	登呂博物館来館者数	155千人	4月中旬を目途に連絡			①企画展・特別展の開催、体験・イベント等の実施 ②登呂遺跡、弥生時代や古代に関する企画展の開催、登呂遺跡・登呂博物館での体験・イベント等の実施 ③令和8年度 ④登呂博物館	国の特別史跡登呂遺跡の価値を守り、発信していくことは市民のシビックプライド醸成に繋がるため、継続して特別史跡登呂遺跡の保存・管理活用及び、重要文化財を含む出土品の保管、展示・公開、講座等の開催を実施する。
6		歴史文化課	三保松原文化創造センター管理運営	名勝・世界文化遺産の三保松原を訪れる観光客の交流の場であり、ガイダンス施設として、松原の本質的価値を伝えると共に、観光情報の発信及び多様な展示を行う。	①企画展、三保松原感謝祭等啓発イベント ②三保松原や三保の歴史等をテーマとした企画展の実施、三保松原保全啓発イベントの開催 ③令和7年度 ④みほろべ	(1)企画展(年3回)の開催 (2)保全啓発イベントの開催 (3)年間を通しての開催	(1)実施 (2)実施 (3)実施	(1)実施 (2)実施 (3)実施	35,107	4月末日を目途に連絡	令和7年度入館者数	55万人	4月末日を目途に連絡			①企画展、三保松原感謝祭等啓発イベント ②三保松原や三保の歴史等をテーマとした企画展の実施、三保松原保全啓発イベントの開催 ③令和8年度 ④みほろべ	名勝及び世界遺産である三保松原に対する関心を向上させるため、幅広い年齢層を対象とした企画展の実施、SNS等を利用した情報発信、地元・関係団体との連携を図っていく。
7		歴史文化課	登呂まつり	地元町内会との連携のもと、登呂遺跡において火起こしや赤米収穫体験など弥生時代の文化を感じさせる体験メニューを登呂まつりの開催に合わせ実施する。	①第63回登呂まつり ②登呂まつり実行委員会への補助事業(内容:弥生文化体験やステージでの踊りや演奏など) ③令和7年10月上旬から中旬の2日間 ④登呂遺跡公園	登呂まつりの実施	実施日数 2日間	令和7年10月11日(土)、12日(日)の2日間開催	1,388	1,388	来場者数	30千人	26千人	B	まつり当日の天候不良により来場者数が減ったため。	①第64回登呂まつり ②登呂まつり実行委員会への補助事業(内容:弥生文化体験やステージでの踊りや演奏など) ③令和8年10月上旬から中旬の2日間 ④登呂遺跡公園	まつりの主催である実行委員会の高齢化が進み、準備や運営の担い手が不足している。 実行委員会と駿河区地域総務課との連携を依頼し、役割分担の軽減など目的に合った運営の見直しを促す。
8		文化政策課	平野富山作品等の保存及び展示等業務	市が所蔵する平野富山作品及び同氏のコレクションの適正な管理のため、静岡市清水文化会館収蔵庫での保存に関する業務を実施する。また、広く市民に鑑賞する機会を提供することによりその活用を図るため、常設展示スペースの運営及び展示替えを実施する。	②静岡市所蔵の平野富山作品の展示替えを年3回実施 ③未定 ④静岡市清水文化会館	委託契約の締結	1件	1件	22,776の一部	22,776の一部	展示替え実施回数	年3回	年3回	A		②静岡市所蔵の平野富山作品の展示替えを年3回実施 ③未定 ④静岡市清水文化会館	
9		観光国際課	ナイトツーリズム推進事業	駿府城公園エリアにおける照明整備を実施するとともに、夜間の観光振興に取り組むことで、観光客の滞在時間を延ばし、観光消費の拡大や宿泊客数の増加につなげ、地域経済の活性化を図る。	①駿府城跡天守台野外展示施設ほか夜間景観実装設計の実施 ②イルミネーション実施設計「静岡市の夜景」HPの運営 ③令和8年3月 ④葵区駿府城公園	①R8.3月実施設計の完了 ②夜景観光HPの開覧数	①1回 ②205,000回	①1回 ②143,759回(2月末時点)	①20,000 ②300	①17,765 ②212	①駿府城公園エリア夜間景観整備(①興橋・地蔵3天守台野外展示)における事業の進捗率	①85%	①85%	S	①遅滞なく実施設計が完了したため	①駿府城跡天守台野外展示施設ほか照明設置工事の実施 ②「静岡市の夜景」HPの運営	①野外展示全体の整備に合わせて工事を実施する必要があるため、関係課及び事業者との密な連携が必要となる。 ②コンテンツ売込に向け、「知地域共創コンテスト」を活用したスタートアップ事業との連携を模索する。
10		観光国際課	東海道歴史街道まちあるき推進事業	街道の魅力を市内外で発信するとともに、宿泊間の周遊を促す各種事業を実施し、街道観光の推進を図る。	「しずおか東海道まちあるきWEB」での街道観光の発信	「しずおか東海道まちあるきWEB」での宿泊情報・イベント情報等の更新・発信	実施	実施	662	655	「しずおか東海道まちあるきWEB」へのアクセス数	282,000アクセス	240,525アクセス(2月末現在)	B	(3月末実績を加味して記載予定)	「しずおか東海道まちあるきWEB」での街道観光の点検する宿泊先では観光客の来訪、滞在につながりにつなぐため、東海道53次・57次でつながる自治体・街道関係団体と連携し東海道全体で魅力を発信することで、東海道を訪れる観光客の増加と周遊を促進し、エリア内への誘客を促す。	
11		観光国際課	駿州の旅日本遺産推進事業	日本遺産の構成文化財をはじめとする地域の歴史・文化・景観等の資源を活用し、地域間交流と街道観光の推進を図る。	①駿州の旅日本遺産ガイド養成 ②オリジナルブランド「駿州堂」商品販路形成支援 ③インバウンド向け情報発信、モデルコースプロモーション ④案内・解説版、路面表示等の整備	①認定ガイド数 ②協力民間事業者数 ③モデルコースのモニターツアーの実施 ④案内・解説版、路面表示等の整備件数	①80名 ②42事業者(団体) ③実施 ④7件	①85名 ②42事業者(団体) ③実施 ④7件	4980	4980	①「駿州の旅」の認知度 ②観光入込客数(藤枝市含む)	①50% ②30,446,000人	①57.8% ②18,785,352人(12月末時点)	B	認知度調査は令和5年度の大河ドラマによって地域資源に関する関心が高まった傾向を維持でき、目標を上回った。一方で観光入込客数は、4～5月の行楽シーズンや夏期の人数が伸び悩んでいることから猛暑や物価高騰の影響による全体的な来訪者数低下が考えられ、総合的にBとした。	①駿州の旅日本遺産ガイド活用機会創出 ②オリジナルブランド「駿州堂」商品ブラッシュアップ、販路形成支援 ③体験商品のラインナップ整理 ④案内・解説版、路面表示等の整備	郷土愛の醸成や地域内での普及啓発といった土台作りから日本遺産制度本来の目的である地域資源の観光活用にとさらに取り組む必要がある。解決にあたっては、ガイド・体験・食を組み込んだ観光商品の造成及び販路形成を重視し、看板商品育てに注力していく。
12		文化政策課	A級順位戦最終局～将棋界の一番長い日～	徳川家康公ゆかりの深い将棋を通じて、静岡市と家康公の繋がりを全国に向けて発信するとともに、静岡市における将棋文化の振興と地域活性化を図る。	①事業名と同一 ②対局誘致、及び対局の大盤解説会、関連事業として前夜祭・多面指し指導将棋・静岡市長杯こども将棋大会の開催。 ③開催日(令和8年2月24日(水)・25日(木)・3月1日(日)) ④浮月楼、静岡音楽館AOI、シズウエル	応募者数	1,000人	905人	10,500	10,500	来場者推奨度	20%	18.20%	A	目標値を下回るものの、県内外からの集客があり、本市と将棋の繋がりを発信することができたため、Aとした。	②前夜祭、多面指し指導将棋、色紙サイン会、大盤解説会、静岡市長杯こども将棋大会 ③2月下旬～3月上旬 ④浮月楼ほか(調整中)	対局の大盤解説会について、オンライン配信はあるが、会場のキャパシティの関係から参加可能な人数に限度がある。来場者に対する魅力発信の強化や、R7年度に実施した解説前のウェルカムコンサートの実施などオンライン配信の視聴者に対しても本市の文化を発信する手法を検討していきたい。
13	新規	住宅政策課	市営羽衣団地見学ツアー	現存する日本最古の鉄筋コンクリート造の公営住宅の空き室を活用し、当時の暮らしがわかる見学部屋を設け、団地の建設経緯や建物の特徴などをわかりやすく説明する団地見学ツアーを月に2回開催する。	①(事業名と同一) ②見学部屋で建設経緯や建物の特徴の説明を行い、地下の共同浴場や屋上での見学を行う。 ③毎月2回開催(7、8、9月を除く) ④羽衣団地2号棟 ※市は行政視察を対応 市民による見学は指定管理者(まちづくり公社)が対応	参加者数	300人		0	0							
14	新規	文化政策課	しずおかショートフィルムコンテスト	本市におけるメディア芸術の振興を図ることを目的として、広く市民にメディア芸術に触れる機会を提供するとともに作品発表の場を創出するため、映像作品(短編映画、アニメーションを含む)による公募型のコンクールを実施するもの。募集にあたり「しずおか」に関連するテーマを設けることで、本市の文化観光資源の認知度向上に寄与することも目的とする。	②しずおかショートフィルムコンテストの開催 ③募集:令和7年6月2日～10月31日 授賞式・上映会:令和8年2月22日 ④授賞式・上映会:サールナートホール	委託契約の締結	1件	1件	22,776千円の一部	22,776千円の一部	応募作品数		23	A	事業着手初年度であったが、県外・市内外から作品の応募があり、静岡市におけるメディア芸術の振興に寄与することができたため。	②しずおかショートフィルムコンテストの開催 ③募集:令和8年8月頃～ 授賞式・上映会:令和9年2月下旬 ④授賞式・上映会:未定	コンテストのターゲット層に届く、効果的な広報を実施し、応募作品数の増加に努めるとともに、受賞作品の活用方法を検討していく。

2文化を活かした交流による活力あふれるまちづくり

3文化でつながるまちづくり

1誰ひとり取り残さない機会の提供

施策6 誰もが参加可能で継続的な体験機会の提供																	
事業No.	再掲	所管課名	事業概要(全体)			活動の状況			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)			評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
			事業名	事業目的	令和7年度 実施内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	事業費	成果指標(アウトカム指標)	評価理由	令和8年度 実施予定内容	今後の課題と課題解決に向けた取組内容				
1	再掲	文化政策課 (静岡市民文化会館)	ラウドビル計画大型公演	静岡音楽館、静岡市美術館、静岡科学館の駅前三館や、地域の市民活動のよりどころである生涯学習センター等と連携し、多彩な取り組みによって多くの市民の文化活動への参画と交流機会を生み出す。	施設が改修工事に伴う休館中であるため実施せず。	—	—	—	—	—	—	—	評価対象外	—	—	—	
2	再掲	文化政策課	こども園訪問コンサート	市内のこども園等を訪問するコンサートを開催し、これまで文化に馴染みのなかった幼少期の子どもたちに生演奏を鑑賞する機会を提供し、文化に親しむきっかけとしてもらう。	②市内のこども園等を訪問するコンサートを開催 ③未定 ④市内こども園	こども園コンサート実施園数	14園	19園	27,318千円の一部	26,642千円の一部	事業奨励度(開催後アンケート:「またこの事業に応募したい」の割合)	90%	100%	S	目標を大きく上回る実施数となったこと及び開催後アンケートで高い評価を獲得していることから、子どもたちが生演奏を鑑賞し文化に親しむ機会を多く提供できたため。	②市内のこども園等を訪問するコンサートを開催 ③14園程度 ④市内こども園	多くの応募がある事業のため、結果的に毎年40以上の園が落選となっている。数年かけて市内の園に満遍なく機会が提供できるよう、過去数年の開催状況を確認しながら選定する。
3	再掲	文化政策課	学校訪問コンサート	34人及び52人編成のプロオーケストラが市内小中学校を訪問し、生演奏を行う。広く市内の子どもたちに迫力ある演奏の鑑賞体験を提供し、文化に親しむ機会を創出する。	②市内の学校を訪問するコンサートを開催 ③未定 ③市内学校・特別支援学校	学校訪問コンサート実施校数	8校	8校	27,318千円の一部	26,642千円の一部	事業奨励度(開催後アンケート:「またこの事業に応募したい」の割合)	90%	100%	S	開催後アンケートで高い評価を獲得していることから、子どもたちが本格的なオーケストラによる質の高い演奏を鑑賞し文化に親しむ機会を提供することができたため。	②市内の学校を訪問するコンサートを開催 ②6校程度 ③市内学校・特別支援学校	申込数が年々減少しており、気温や駐車場などの課題の他に事業自体を知らない学校もいることから、事業実施を積極的に発信し周知していく。
4	再掲	文化政策課	親子クラシックコンサート	親子で気軽に音楽を楽しむことができる機会を提供することにより、文化活動に興味関心を高め、乳幼児を含む親子が入場可能なプロオーケストラによるコンサートを開催する。	①0歳から入れる親子クラシックコンサート ②6月15日 ③静岡市民文化会館 清水文化会館マリナート 大ホール	親子コンサート開催回数	2回	2回	27,318千円の一部	26,642千円の一部	公演満足度(来場者アンケート:「とても良かった」・「良かった」の割合)	90%	97%	S	例年多くの申込がある人気の高い事業であり、アンケートでたいへん高い満足度を獲得していることから、親子で気軽に音楽を楽しみ文化活動への興味関心を高める機会を提供できたため。	①0歳から入れる親子クラシックコンサート ②6月13日 ③清水文化会館マリナート 大ホール	例年、午前の部に比べ午後の部の申込が少ないため、午後の部のみ一般も申込可とするか受託者と検討する。
5		文化政策課	文化芸術アトリーチプログラム事業	市内で活動している文化団体等と連携し、子どものうちから様々な分野の文化芸術に親しむ機会を設け、文化芸術に対する理解及び関心を高めるため、市内小中学校、こども園等を訪問し、気軽に文化芸術に触れることができる機会を提供する。	①文化団体等がこども園等の施設を訪問し、気軽に文化芸術に触れることができる機会の提供 ②未定 ③静岡市内のこども園、放課後子ども教室、こども食堂等	実施回数	19回	19回	6000	5877	観覧者数	1200	1427	A	文化芸術創造拠点事業に呼応して、演劇を10回実施するなど、前年度に比べ意欲的な内容の変更があった。	①文化団体等がこども園等の施設を訪問し、気軽に文化芸術に触れることができる機会の提供 ②未定 ③静岡市内のこども園、放課後子ども教室、こども食堂等	認知度が足りないことが課題である。教育施設関連の対象者に、よりこの事業が伝わる広報を行う必要がある。
6		総合政策課1	TGCLしずおか開催事業(SDGs推進事業)	ファッションを通じたSDGsイベント。2030年の社会で中心の役割を担う若者が、SDGsについて考え、達成に向けた行動を促進する機会を創出するとともに、本市の魅力を発信する。	①SDGs推進 TGCLしずおか2026 ②SDGsをテーマとしたファッションショーステージ、ブース ③令和8年1月頃 ④ツインメッセ静岡 北館大展示場	①静岡市ステージの実施、静岡市のPR ②経済波及効果の実施 ③来場者アンケートの実施	①伝統工芸を取り入れたファッションショーステージの実施、市内施設・観光地のPR動画の作成 ②経済波及効果報告書の完成 ③来場者アンケート500件の回答収集	①伝統工芸を取り入れたファッションショーステージの完成、市内観光スポットを巡る動画の作成と配信 ②経済波及効果報告書の完成 ③来場者アンケート591件実施	31,300	30804	①来場者数、配信総視聴者数 ②経済波及効果(市内) ③来場者アンケートによる事業満足度	①来場者数:延べ約8,000名、配信総視聴者数:延べ約1,750,000名 ③経済波及効果(市内)2億円 ④来場者アンケートによる事業満足度(このようなファッション等若者や女性向けイベントを開催することについて)とても良い70%以上	①来場者数:延べ約8,000名、配信総視聴者数:延べ約1,750,000名 ③経済波及効果(市内)2億1,500万円 ④来場者アンケートによる事業満足度(このようなファッション等若者や女性向けイベントを開催することについて)とても良い73.8%	A	来場者数、配信総視聴者数、経済波及効果共に前年度より増加していることから、より多くの若者へファッションを通してSDGsの行動を促進する機会の提供ができていますと評価する。	①SDGs推進 TGCLしずおか2026 ②SDGsをテーマとしたファッションショーステージ ③令和9年1月頃 ④ツインメッセ静岡 北館大展示場	SDGsについての認知度は高いため、SDGsの行動促進を推進していくことが課題である。今後は若者が静岡市に愛着を持ち、静岡市のために行動していくことでSDGsの推進につながるようなテーマを選択し、展開していく。
7	再掲	文化政策課	親子クラシックコンサート	親子で気軽に音楽を楽しむことができる機会を提供することにより、文化活動に興味関心を高め、乳幼児を含む親子が入場可能なプロオーケストラによるコンサートを開催する。	①0歳から入れる親子クラシックコンサート ②6月15日 ③静岡市民文化会館 清水文化会館マリナート 大ホール	親子コンサート開催回数	2回	2回	27,318千円の一部	26,642千円の一部	公演満足度(来場者アンケート:「とても良かった」・「良かった」の割合)	0.9	0.97	S	例年多くの申込がある人気の高い事業であり、アンケートでたいへん高い満足度を獲得していることから、親子で気軽に音楽を楽しみ文化活動への興味関心を高める機会を提供できたため。	①0歳から入れる親子クラシックコンサート ②6月13日 ③清水文化会館マリナート 大ホール	例年、午前の部に比べ午後の部の申込が少ないため、午後の部のみ一般も申込可とするか受託者と検討する。
8	再掲	文化政策課 (静岡音楽館AOI)	音楽分野における普及振興事業(「子どものための音楽ひろば」等)	子どもたちに本物に触れる機会を提供するとともに、音楽分野における幅広い経験を通して豊かな感性を養うことの出来るような体験機会を提供する。	①第26期「子どものための音楽ひろば」 ②小学4年生から中学3年生までの子どもを対象とした音楽に親しむための講座 ③1年間で全24回実施 ④静岡音楽館	受講者数	35人	37人	227,176 (指定管理料の一部)	235,138 (指定管理料の一部)	受講者数	35人	37人	S	目標値を上回っているため	①第26期「子どものための音楽ひろば」 ②小学4年生から中学3年生までの子どもを対象とした音楽に親しむための講座 ③1年間で全24回実施 ④静岡音楽館	引き続き、子どもたちに本物に触れる機会を提供するとともに、音楽分野における幅広い経験を通して豊かな感性を養うことの出来るような体験機会を提供する。
9	再掲	文化政策課 (静岡音楽館AOI)	音楽分野における普及振興事業「小中学校でのピアノ・ミニコンサート」(どこでもAOI等)	より多くの市民が、クラシック音楽への興味・関心を高められるよう清水区や中山間地等の静岡音楽館から離れた地域、医療施設、福祉施設等でアトリーチ事業を実施。また、子どものための事業や市民参画の機会、講座や講演会などの事業を実施する。	①アトリーチ・コンサート、どこでもAOI 等 ②AOI以外の学校や生涯学習施設等で生演奏を体験してもらう ③6/5、9/20、11/12 他 ④静岡中央特別支援学校、興津生涯学習交流館等	来場者数	目標値の設定なし	※未確定のため4月以降入力	227,176 (指定管理料の一部)	235,138 (指定管理料の一部)	来場者数	目標値の設定なし	765人	A	※未確定のため4月以降入力	①アトリーチ・コンサート、どこでもAOI 等 ②AOI以外の学校や生涯学習施設等で生演奏を体験してもらう ③6/5、9/20、11/12 他 ④静岡中央特別支援学校、興津生涯学習交流館等	引き続き、クラシック音楽への興味・関心を高めるため、事業内容を充実させていくことで、来場者数の増加に努めていく。
10	新規	文化政策課	障害者アート事業	障がいのある無に関わらず、誰もが自己表現・実現できる場を提供するとともに、市民が気軽に障がい者アートに触れる機会を創出することで、誰もが様々な場所でも様々な文化を享受できる機会を充実させることを目的とする。	②障がい者アートの展示 ③1.令和7年8月23日(土)～8月31日(日) 2.令和8年2月9日(月)～2月16日(月) ④会場:1.市民ギャラリー 2.静岡庁舎 新館1階	入場者数	324人	S:期待を上回っていた	1,007	1,007	入場者数	324人	656	S	令和7年度は、昨年度の倍以上の来場者数来場者656人であり、誰もが文化活動に参加する機会を提供できている。	②障がい者アートの展示 ③令和8年8月22日(土)～8月30日(日) ④会場:市民ギャラリー	市が開催するまちじゅうアート展のみならず、民間企業及び外郭団体と協力して、障がい者アートの拠点や情報発信を行い、限られた拠点でのみ享受できるではなく、身近な場所でも気軽に発表したり、障がい者アートに触れることができるような機会を拡大していく。
11	新規	文化政策課	静岡市こどもミュージカル補助金交付事業	静岡市こどもミュージカル補助金交付事業	①静岡市こどもミュージカル2025 ②市民による手作りミュージカル ③開催日:令和9年8月(予定) ④会場:清水マリナート	①来場者数 ②参加者数	①2,150 ②60人	S:期待を上回っていた	6,500千円	6,500千円	①来場者数 ②参加者数	①2,150 ②60人	①2,535 ②63人	S	来場者数が期待を大幅に上回ったため、Sとした。	②内容 次年度の出演者オーディション ③募集:令和8年10月(予定) ④会場:未定	広報発信強化によるミュージカル出演者募集人数の増加、協賛金獲得強化による事業継続の安定化
12	新規	文化政策課	しずおかマンガコンテスト	本市におけるメディア芸術の振興を図ることを目的として、広く市民にメディア芸術に触れる機会を提供するとともに作品発表の場を創出するため、漫画作品による公募型のコンクールを実施する。	②しずおかマンガコンテストの開催 ③募集:令和7年6月2日～9月30日 授賞式・上映会:令和8年3月7日 ④授賞式:上下水道局庁舎 7階会議室	委託契約の締結	1件	1件	22,776千円の一部	22,776千円の一部	応募者数		112	A	事業着手初年度であったが、学校や部活動単位での応募や、幅広い世代からの応募があり、静岡市におけるメディア芸術の振興に寄与することができたため。	②しずおかマンガコンテストの開催 ③募集:令和8年8月頃～ 授賞式:令和9年3月上旬 ④授賞式:未定	コンテストのターゲット層に届く、効果的な広報を実施し、応募作品数の増加に努めるとともに、受賞作品の活用方法を検討していく。

2文化を活かした交流による活力あふれるまちづくり

3文化でつながるまちづくり

1誰ひとり取り残さない機会の提供

施策7 あるがままを受け入れる文化コミュニティの醸成																	
事業No.	再掲	所管課名	事業概要(全体)			活動の状況			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)			評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
						活動指標(アウトプット指標)			事業費		成果指標(アウトカム指標)						
			事業名	事業目的	令和7年度 実施内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	令和7年度 予算額(千円)	令和7年度 決算額(千円)	指標名	当該年度の目標値	実績値	評価	評価理由	令和8年度 実施予定内容	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
1	再掲	生涯学習推進課	生涯学習施設での講座等の実施	生涯学習施設において、講座、講演会、公演等を実施する。	②生涯学習施設において講座、講演会、公演等を開催する。 ③令和7年4月1日～令和8年3月31日 ④生涯学習施設32館(無人館・山5館を除く)	事業実施	生涯学習センター 1,250回実施 生涯学習交流館 1,281回	事業完了前のため、 6月上旬を目途に連絡	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講満足度	満足度93.5%以上	事業完了前のため、 6月上旬を目途に連絡			②生涯学習施設において講座、講演会、公演等を開催する。 ③令和7年4月1日～令和8年3月31日 ④生涯学習施設32館(無人館・山5館を除く)	
2	再掲	文化政策課 (静岡市民文化会館)	ラウドビル計画 大型公演	静岡音楽館、静岡市美術館、静岡科学館の駅前三館や、地域の市民活動のよりどころである生涯学習センター等と連携し、多彩な取り組みによって多くの市民の文化活動への参画と交流機会を生み出す。	施設が改修工事に伴う休館中であるため実施せず。	—	—	—	—	—	—	—	—	評価対象外	—	—	
3		生涯学習推進課	生涯学習施設での市民主体のまちづくりを推進する人材育成講座等の実施	生涯学習施設において、市民主体のまちづくりを推進する人材育成講座、講演会、公演等を実施する	②生涯学習施設において、市民主体のまちづくりを推進する人材育成講座、講演会、公演等を実施する。 ③令和7年4月1日～令和8年3月31日 ④生涯学習施設32館(無人館・山5館を除く)	事業実施	生涯学習施設32館で実施	事業完了前のため、 6月上旬を目途に連絡	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講満足度	満足度92.8%以上	事業完了前のため、 6月上旬を目途に連絡			②生涯学習施設において、市民主体のまちづくりを推進する人材育成講座、講演会、公演等を実施する。 ③令和7年4月1日～令和8年3月31日 ④生涯学習施設32館(無人館・山5館を除く)	

4		文化政策課	ストリートピアノ	誰でも演奏できるストリートピアノを公共空間に設置する事業。公共空間における自己表現・自己表現の場を設けるとともに、交流人口の増加を図る。	①ストリートピアノ ②誰でも演奏できるストリートピアノを公共空間に設置 ③終期未定 ④清水駅前銀座、東静岡駅、清水駅、マークイズ静岡	新規設置検討の件数 新規設置台数	新規設置検討を1件以上 新規設置1台	新規設置0台 年度内に設置できるピアノが出なかった。 臨時で新規検討1件を実施 次年度設置見込	1527	811	既設ストリートピアノの継続設置	既設4台の継続設置	4台の設置継続	A		①ストリートピアノ ②誰でも演奏できるストリートピアノを公共空間に設置 ③終期未定 ④清水駅前銀座、東静岡駅、清水駅、マークイズ静岡	日常管理の省力化を進めることで、更なる設置箇所拡大を目指す。
5		中央図書館	読み聞かせ等図書館ボランティアとの協働促進	読み聞かせ等の活動を市民との協働により実施するため、ボランティアの養成及び増員を図る。	①名称：読み聞かせ等ボランティアの募集・養成及び読み聞かせ事業の実施 ②内容：ボランティア登録者を確保し、ボランティアによるおはなし会の推進を図る ③期間：令和7年度 ④会場：市立図書館	ボランティア養成講座実施回数	年1回(全6回)開催 参加者：30人	年1回(全6回)開催 実施日：7/2、7/16、7/30、8/20、9/3、9/17 参加者：30人	24	24	ボランティアによるおはなし会開催の割合	45.00%	51.49%	S	講座を通じてをボランティアの育成を図り活動体制の充実に努めた結果、ボランティアによるおはなし会開催回数が目標を上回り継続的な活動の推進に繋がった。	①名称：読み聞かせ等ボランティアの募集・養成及び読み聞かせ事業の実施 ②内容：ボランティア登録者を確保し、ボランティアによるおはなし会の推進を図る ③期間：令和8年度 ④会場：市立図書館	ボランティアの高齢化が進んでいるため、新たなボランティアを養成し、図書館のおはなし会の充実に努めていく。

2 文化を活かした交流による活力あふれるまちづくり

3 文化でつながるまちづくり

2 サードプレイスの増加

施策8 心地よい空間の創出及び公共施設の有効活用																	
--------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業No.	再掲	所管課名	事業概要(全体)			活動の状況			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)			評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
			事業名	事業目的	令和7年度 実施内容	活動指標(アウトプット指標)			事業費		成果指標(アウトカム指標)			評価	評価理由	令和8年度 実施予定内容	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
						指標名	当該年度の目標値	実績値	令和7年度 予算額(千円)	令和7年度 決算額(千円)	指標名	当該年度の目標値	実績値				
1	再掲	文化政策課	まちかどコンサート	市内で活動しているオーケストラ等と連携し、オープンスペースでのコンサートをを行い、音楽文化を通じてまちを活性化させることにより、「まちは劇場」を推進する。	①まちかどコンサート ②オープンスペースでのコンサートの開催 ③年間30回 ④静岡駅北口地下広場、新静岡セノバ等	まちかどコンサート開催回数	30回	31回	27,318千円の一部+1,063千円	26,642千円の一部+987千円	まちかどコンサート来場者数	4700人	4920人	A	目標を上回る実績値となり、多くの市民が音楽に触れる機会を創出し、市民の音楽文化の醸成及び「まちは劇場」の推進に繋がったと評価できた。	①まちかどコンサート ②オープンスペースでのコンサートの開催 ③年間26回程度 ④静岡駅北口地下広場、新静岡セノバ等	気軽に質の高い音楽を楽しむ機会ではあるが、ホールでの本格的な音楽鑑賞に足を運んでくれる市民はまだまだ少ないため、コンサートの中で演者と交流できる機会を設けるなど、よりオーケストラそのものに親しみを持ってもらえるような工夫を取り入れていく。
2	再掲	文化政策課	ストレンジシード開催事業	駿府城公園や市役所前などのオープンスペースで"まちそのもの"を劇場に変える演劇祭。多くの市民ボランティアが演技ポイントの運営スタッフとして活躍している。	①ストレンジシード静岡2025 ②公園や市街地等の野外で演劇等の上演 ③令和7年5月3日～5日 ④駿府城公園、青葉シンボルロード、常盤公園 他	来場者数	90,000人	116,114人	14,255千円	14,255千円	来場者数	90,000人	116,114人	S	目標値を大幅に上回り、本市と市外、県外及び国外のネットワークを広げる取組が実施できたため、Sとした。	①ストレンジシード静岡2026 ②公園や市街地等の野外で演劇等の上演 ③令和8年5月3日～5日 ④駿府城公園、青葉シンボルロード 他	地域との連携強化による演目開催場所の拡大及び地域ボランティア数の増加
3		生涯学習推進課	生涯学習施設での生涯学習団体への貸館の実施	生涯学習施設において、文化活動を行う生涯学習団体に貸館を実施する。	②生涯学習施設で活動を行う生涯学習団体に貸館を実施する。 ③令和7年4月1日～令和8年3月31日 ④生涯学習施設32館(無人館・山5館を除く)	事業実施	生涯学習施設32館で実施	事業完了前のため、6月上旬を目途に連絡	指定管理料の一部	指定管理料の一部	利用者満足度	生涯学習センター満足度90%以上、生涯学習交流館満足度93%以上	事業完了前のため、6月上旬を目途に連絡			②生涯学習施設で活動を行う生涯学習団体に貸館を実施する。 ③令和7年4月1日～令和8年3月31日 ④生涯学習施設32館(無人館・山5館を除く)	
4		観光国際課	フォトウエディング事業(静岡市坐漁荘記念館)	静岡市結婚支援事業「しずおかエンジェルプロジェクト」の一環で、木造数寄屋造の坐漁荘記念館をフォトウエディング会場として活用する。	引き続きフォトウエディング会場としての利用受付を随時行う。	フォトウエディング受付回数	12件(各月1回以上を目標)	14件(2月時点)	8,723の内数		フォトウエディング実施回数	12件(各月1回以上を目標)	14件(2月時点)	S	期待を上回る達成状況であったため。	引き続きフォトウエディング会場としての利用受付を随時行う。	実施時期に偏りがある。(6～10月は実施なし)
5	再掲	文化政策課	文化団体等への貸館の実施	文化施設で活動を行う文化団体等に貸館を実施する。 文化施設：静岡市民文化会館、清水文化会館、静岡音楽館	文化施設で活動を行う文化団体等に貸館を実施する。 文化施設：静岡市民文化会館、清水文化会館、静岡音楽館	施設利用率：静岡市民文化会館：休館 清水文化会館：70% 静岡音楽館：84%	施設利用率：静岡市民文化会館：休館 清水文化会館：70% 静岡音楽館：84%	施設利用率：静岡市民文化会館：休館 清水文化会館：289,153千円の一部 静岡音楽館：227,176千円の一部	静岡市民文化会館：休館 清水文化会館：289,152千円の一部 静岡音楽館：235,138千円の一部	静岡市民文化会館：休館 清水文化会館：289,152千円の一部 静岡音楽館：235,138千円の一部	施設利用率：静岡市民文化会館：休館 清水文化会館：70% 静岡音楽館：84%	施設利用率：静岡市民文化会館：休館 清水文化会館：83.3% 静岡音楽館：84%	施設利用率：静岡市民文化会館：休館 清水文化会館：83.3% 静岡音楽館：81.7%	B	期待を下回っていた	文化施設で活動を行う文化団体等に貸館を実施する。 文化施設：静岡市民文化会館、清水文化会館、静岡音楽館	引き続き多様な主体に利用されるよう、施設の認知向上を推進し、利用者数の拡大と稼働率の向上を図る。
6	再掲	文化政策課(静岡科学館)	科学への興味・関心を高める事業	幅広い年代の市民が事業に参加・体験することで、個々の科学的な視点を広げ、科学を生活の中で身近に感じられるようになることを目指し、体験を通して科学への興味・関心を高めるための多様な事業を実施する。	①サイエンスショー ②身近な科学について楽しく紹介する ③令和7年4月29日(火・祝)～令和7年11月24日(月・祝) ④静岡科学館	入場者数	2,800人	2,879人	214,161(指定管理料の一部)	214,846(指定管理料の一部)	入場者数	2,800人	2,879人	A	期待通りの入場者数であったため。	①サイエンスショー ②身近な科学について楽しく紹介する ③令和8年5月2日(土)～令和8年11月23日(月・祝) ④静岡科学館	引き続き、多様なテーマに沿って、身近な事象に含まれる科学的要素を様々な世代が楽しめる機会を提供する。
7	再掲	文化政策課(静岡科学館)	科学分野における地域との連携推進事業	地域の科学文化を地域全体で育てていくため、市内外の生涯学習施設や大学・専門研究機関、企業、市民団体等と連携した事業を実施する。また、静岡市美術館、静岡音楽館や生涯学習センターと連携し、市民交流や生涯教育、中心市街地のにぎわいの創出にも貢献する。	①駅前3館プラス1共同事業 ②科学館、音楽館、美術館、歴史博物館の駅前4館で連携して行う事業 ③随時 ④静岡科学館、静岡音楽館、静岡市美術館、歴史博物館	入場者数	230人	205人	214,161(指定管理料の一部)	214,846(指定管理料の一部)	入場者数	230人	205人	B	設定した目標値を下回ったため	①駅前3館プラス1共同事業 ②科学館、音楽館、美術館、歴史博物館の駅前4館で連携して行う事業 ③随時 ④静岡科学館、静岡音楽館、静岡市美術館、歴史博物館	静岡駅前文化施設3館及び静岡市歴史博物館で各館の専門性を活かした連携事業を実施することにより、異なるジャンルに興味を持つきっかけを作るとともに、中心市街地の賑わい創出に貢献を目指す。

2 文化を活かした交流による活力あふれるまちづくり

4 文化でにぎわうまちづくり

1 多様なにぎわいの創出

施策9 文化事業等の情報を発信する機会の充実と環境整備																	
-----------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業No.	再掲	所管課名	事業概要(全体)		活動の状況			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)			評価及び次年度以降に向けた課題・改善など				
			事業名	事業目的	令和7年度 実施内容	活動指標(アウトプット指標)		事業費		成果指標(アウトカム指標)		評価	評価理由	令和8年度 実施予定内容	今後の課題と課題解決に向けた取組内容		
						指標名	当該年度の目標値	実績値	令和7年度 予算額(千円)	令和7年度 決算額(千円)	指標名					当該年度の目標値	実績値
1		観光国際課	海外プロモーション事業	海外市場に向け、当市の魅力を発信し、認知度向上を図ることで、海外からの誘客と交流を推進する。	《韓国市場》 -静岡県が運営するゾロダと連携して、情報発信を行う。 《台湾・香港》 -台湾発の旅行系アプリでのツアープランコンテストを通じて、現地消費者の認知・関心の向上を図る。 -大阪・関西万博アニメツリズムイベントに出展し、ちびまる子ちゃんのふるさとをアピールする。	《台湾》 ツアープラン提案数	《台湾》 200件	《台湾》 245件	5,000	4,999.5	《台湾》 台湾の本市延べ宿泊者数	《台湾》 17,747人	※R8.9以降に県より提供される予定、10月末を目途に連絡	S	活動指標で定める目標値を大幅に上回ったことからS評価とした。	《韓国市場》 -静岡県が運営するゾロダと連携して、情報発信を行う。 《台湾・香港》 -旅行予約サイト等を活用したツアープランコンテストを通じて、現地消費者の認知・関心の向上を図る。 -大阪・関西万博アニメツリズムイベントに出展し、ちびまる子ちゃんのふるさとをアピールする。	本市は全国や県と比較し、市内宿泊者数に占めるインバウンド宿泊者の割合が低い状況であるため、引き続きインバウンド誘客に向けた施策を実施していく。
2		観光国際課	伝統芸能振興事業	伝統芸能を活用した観光誘客の促進及び地域観光の発展、加えて芸妓芸能の価値の向上とともに、市の認知度向上及び観光地としての魅力向上を図る。	・内容：補助金の交付及び・静岡市伝統芸能振興会と連携した芸妓芸能の普及活動の実施・芸妓芸能をより普及させるべく本市からの補助金の支給額を拡充・認知度向上のための周知、広報活動の実施 ・期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日	補助交付件数	1件	1件	10,000	10,000.0	補助交付件数	1件	1件	A	遅延なく、補助金の交付及び補助事業が完了したため。	・内容：補助金の交付及び・静岡市伝統芸能振興会と連携した芸妓芸能の普及活動の実施・芸妓芸能をより普及させるべく本市からの補助金の支給額を拡充・認知度向上のための周知、広報活動の実施 ・期間：令和8年4月1日～令和9年3月31日	本事業は観光誘客を主目的としているものの、補助事業における参加実態としては約7割を市内在住者が占めている状況にあることから、市外からの誘客促進のため、補助対象や補助要件の見直しも含め、補助金のあり方及び誘客方法について検討を進めていく。
3		観光国際課	フィルムコミッション推進事業	映画やテレビ等の映像を通じて、静岡市の様々な魅力を広く発信し、イメージアップ、市内の経済活性化及び観光誘客を図る。	撮影相談への対応、ロケーションの紹介、各種申請手続きの支援等、作品を活用したプロモーション活動	相談件数：当課に撮影等に係る相談があった件数 撮影件数：相談された作品の中で、実際に撮影した件数	相談件数 60件 撮影件数 30件	相談件数 136件 撮影件数 50件	5,542	2,004	観光意欲度：観光や旅行などで行きたいと思うか ※R8から新たに設定	-	29.9	A	相談件数・撮影件数ともに増加しており、作品を活用したコラボ企画含むプロモーション活動を実施するようになった。コラボ期間中は県外からも来訪者があり、事業の目的である観光誘客がされている状況であると言えるから。	芸妓芸能の普及活動の実施・芸妓芸能をより普及させるべ	
4		文化政策課	A級順位戦最終局～将棋界の一番長い日～	徳川家康公とゆかりの深い将棋を通じて、静岡市と家康公の繋がりを全国に向けて発信するとともに、静岡市における将棋文化の振興と地域活性化を図る。	①事業名と同一 ②対局誘致、及び対局の大盤解説会、関連事業として前夜祭・多面指し指導将棋・静岡市長杯ことも将棋大会の開催。 ③開催日(令和8年2月24日(水)・25日(木)・3月1日(日)) ④浮月楼、静岡音楽館AOI、シズウエル	応募者数	1,000人	905人	10,500	10,500	来場者推奨度	20%	18.20%	A	目標値を下回るものの、県内外からの集客があり、本市と将棋の繋がりを発信することができたため、Aとした。	②前夜祭、多面指し指導将棋、色紙サイン会、大盤解説会、静岡市長杯ことも将棋大会 ③2月下旬～3月上旬 ④浮月楼ほか(調整中)	対局の大盤解説会について、オンライン配信はあるが、会場のキャパシティの関係から参加可能な人数に限度がある。来場者に対する魅力発信の強化や、R7年度に実施した解説前のウェルカムコンサートの実施などオンライン配信の視聴者に対しても本市の文化を発信する手法を検討していきたい。
5		文化政策課	静岡市文化振興審議会の運営	文化の振興に関する市の施策の創造的な推進を図るため、文化振興計画の策定等について審議するほか、目標の達成度等効果の検証及び評価を行う。	②第2期静岡市文化振興計画における目標の達成度及び効果の検証及び評価の実施 ③年4回程度開催予定 ④静岡庁舎ほか	審議会の開催	年3回	年3回	345	345	評価総括書の作成	1件	1件	A		②第2期静岡市文化振興計画における目標の達成度及び効果の検証及び評価の実施 ③年4回程度開催予定 ④静岡庁舎ほか	

12	再掲	文化政策課	静岡おでん祭	本市を代表する食文化である静岡おでんの出店が青葉イベント広場や商店街で展開されるグルメイベント。 静岡おでんのブランディングを図るとともに、交流人口の拡大により経済の活性化・観光交流の促進に寄与する。	①静岡おでん祭2026 ②静岡おでんの情報発信、ご当地おでんの出店 ③R8年2月27日(金)～3月1日(日) ④青葉シンボルロード・呉服町名店街(一部)	来場者数	24万人	35万人	4,400	4,400(予定)	来場者数	24万人	35万人	S	天候に恵まれ、期待以上の来場者数となった。	(予定) ①静岡おでん祭2027 ②静岡おでんの情報発信、ご当地おでんの出店 ③R9年2月下旬・3月上旬 ④青葉シンボルロード	トイレ数が来場者数に対し少ないことから、仮設の設置の検討が必要。
13	再掲	文化政策課	ストレンジシード開催事業	駿府城公園や市役所前などのオープンスペースで“まちそのもの”を劇場に変える演劇祭。 多くの市民ボランティアが演技ポイントの運営スタッフとして活躍している。	①ストレンジシード静岡2025 ②公園や市街地等の野外で演劇等の上演 ③令和7年5月3日～5日 ④駿府城公園、青葉シンボルロード、常盤公園 他	来場者数	90,000人	116,114人	14,255千円	14,255千円	来場者数	90,000人	116,114人	S	目標値を大幅に上回り、本市と市外、県外及び国外のネットワークを広げる取組が実施できたため、Sとした。	①ストレンジシード静岡2026 ②公園や市街地等の野外で演劇等の上演 ③令和8年5月3日～5日 ④駿府城公園、青葉シンボルロード 他	地域との連携強化による演目開催場所の拡大及び地域ボランティア数の増加
14		産業政策課	静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター管理運営業務	文化・クリエイティブ産業振興センター(CCC)を運営し、クリエイターの育成・支援を通じた、本市の文化・クリエイティブ産業の振興及び既存産業の高度化を図る。	1 クリエーターの集積と育成 2 文化・クリエイティブ産業の振興 3 企業とクリエイターとのマッチング推進 4 パフォーミングアーツの支援	(1)利用者数 (2)利用者満足度 (3)クリエイターと企業のマッチング件数 (4)クリエイターの集積数	(1)利用者数 4万人 (2)利用者満足度 90%以上 (3)クリエイターと企業のマッチング件数 6件 (4)クリエイターの集積数 3者	91,664			(1)利用者数 (2)利用者満足度 (3)クリエイターと企業のマッチング件数 (4)クリエイターの集積数	(1)利用者数 4万人 (2)利用者満足度 90%以上 (3)クリエイターと企業のマッチング件数 6件 (4)クリエイターの集積数 3者	未集計	評価対象外		1 クリエーターの集積と育成 2 文化・クリエイティブ産業の振興 3 企業とクリエイターとのマッチング推進 4 パフォーミングアーツの支援	今後もクリエイター向けのスキルアップと一般市民への啓蒙・啓発の双方を軸に事業の実施を推進する。
15		文化政策課 (静岡音楽館AOI)	音楽分野における三館連携事業	JR静岡駅前に位置する静岡音楽館、静岡科学館、静岡市美術館の3つの文化施設の連携により、各ジャンルを超えて相乗効果的に創客を進め、文化を軸とした中心市街地の回遊性を高め、にぎわい創出に寄与する。	①ミュージアムコンサート、パイプオルガン解説講座 等 ②静岡市美術館、静岡科学館との連携事業 ③6/29 ④静岡市美術館、静岡音楽館、静岡科学館	入場者数	60人	75人	227,176 (指定管理料の一部)	235,138 (指定管理料の一部)	入場者数	60人	75人	S	目標値を上回っているため	①ミュージアムコンサート、パイプオルガン解説講座 等 ②静岡市美術館、静岡科学館との連携事業 ③8/7、他2回 ④静岡市美術館、静岡音楽館、静岡科学館	引き続き、3館連携により中心市街地の回遊性向上に努めていく。
16	再掲	文化政策課 (静岡市美術館)	美術分野における交流事業	“街にひらかれた美術館”を目指し“ちょっと面白い街のなかの広場”のような美術館として、中心市街地の賑わいの創出に貢献する。「交流ゾーン」を活用したミュージアムコンサートや現代のアートゾーンの紹介等を実施する。	(1) ①イベント名称:Shizubushiシネマアワー ②内容:各展覧会に関連した映画を上映する ③開催日:5/6、3/7～3/8 (2) ①イベント名称:静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業 ②内容:展覧会に即した講座、ミュージアムコンサートなど ③開催日:6/29、9/28 (1)～(2)の会場は静岡市美術館	入場者数	(1)120 (2)設定なし	(1)150人 (2)96人	262,528 (指定管理料の一部)	260,683 (指定管理料の一部)	入場者数	(1)120 (2)設定なし	(1)150人 (2)96人	S	期待を上回っていた	1) ①イベント名称:Shizubushiシネマアワー ②内容:各展覧会に関連した映画を上映する ③開催日:未定 (2) ①イベント名称:静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業 ②内容:展覧会に即した講座、ミュージアムコンサートなど ③開催日:未定 (1)～(2)の会場は静岡市美術館	引き続き誰もが気軽に利用できる特徴を活かし、美術館ならではの特色ある事業を開催する。また、静岡駅前文化施設3館及び静岡市歴史博物館で各館の専門性を活かした連携事業を実施すること、異なるジャンルに興味を持つきっかけを作るとともに、中心市街地の賑わい創出に貢献する。
17	新規	文化政策課	市民協働によるアーティスト滞在型創作活動	アーティストと市民の協働による創作活動を通じ、市民のまちへの理解と愛着を深め、文化芸術を活かしたまちづくりの基盤を構築する。	②地域や企業へアーティストを派遣し、市民協働で演劇作品を制作・上演する。 ③開催日:令和7年12月13日～21日、令和8年1月13日～26日 ④会場 :呉服町名店街、静岡市特別支援教育センター(番町複合施設)	開催地域数	2地域	A:期待通りだった	8,000	8,000				A	目標としていた地域数において事業を実施できたため。	②地域や企業へアーティストを派遣し、市民協働で演劇作品を制作・上演する。 ③開催日:年間で2地域で開催予定 ④会場 :未定	「地域との丁寧な対話」という点では課題が残ったことから、令和8年度以降は「アーツカウンスシルすおか」の専門人材が地域との対話プロセスに参画する予定である。

令和7年度は、全181事業(再掲含む)のうちS評価50件、A評価86件と、約7割以上の事業が期待以上又は期待通りの成果を達成しており、計画に基づく施策は概ね順調に推進された。

特に、公共空間を活用した文化事業の展開参加型・体験型事業の充実、来場者数・参加者数の増加といった点において、市民の文化への接点拡大という観点で成果が見られる。一方で、一部事業における目標未達成事業や認知不足、参加者の偏在、担い手育成や地域連携の弱さなどの課題も明確になった。

目指す
将来像

文化のちからにより訪れる人、住む人を魅了するまち

基本 目標	4つの視点		施策方針		評価点	改善すべき点・ 今後の事業に期待すること
歴史に彩られた個性豊かな文化の創造	1 文化をはぐくむ人づくり	<目指す市民の姿> ●いつでも気軽に文化に触れる環境が整い、自ら活動に参加したくなる機会に恵まれている。 ●子どもや次の世代を担う人たちが活動を通じて広く育まれている。 ●自身の活動や地域の文化に誇りを感じ、様々な手法で関わりを持っている。	普段から、文化鑑賞や創作・参加を通じた体験などの活動をしている市民の割合向上 (令和3年度) 82.6% →(令和8年度)	(1)多様な選択肢の提供 ・文化に触れる多様な選択肢があり、自分に合った文化鑑賞や体験、活動に出会う豊かな機会を提供します。 ・子どもの体験・鑑賞機会を充実させ、文化やその活動を継承していく担い手が育つ環境を整えます。	◆まち劇スポットとストレンジシードなど、公共空間を活用し誰もが気軽に質の高い音楽や文化に触れることができる機会の提供により、日常的な文化体験や文化を享受する機会の拡充につながった。 ◆アウトリーチや学校連携など子どもや若年層をターゲットにした事業により、文化芸術に出会う機会を提供することができた。 ◆美術館・文化施設などでの参加型・体験型事業により、様々な世代が文化に親しむ機会を提供し、文化活動に参加する裾野の拡大、次世代の担い手を育成につながった。	◆コンサートシリーズや一部施設における事業で入場者数が目標未達成。SNS等による情報発信の強化による、来場者数の増加と鑑賞機会の拡大につなげていく。 ◆科学館における地域連携推進や学校連携、研究支援等については目標値未達成。次世代の担い手育成に向けた文化施設と教育機関との連携を強化していく。 ◆体験機会の提供から継続参加、さらには担い手育成へとつながる事業の構築、若年層の継続的な関与機会を創出していく。
	2 文化をはぐくむ地域づくり	<目指す地域の姿> ●文化資源、伝統文化や景観を保存・継承し活用していくための場や環境が整い、実施されている。 ●静岡の町並みや食、市民の人柄などを含めたあらゆる“静岡らしい”地域文化を「しずおか文化」として発信し、その魅力によって人々の興味関心が高まっている。	静岡市は、歴史・伝統文化や地域の魅力が感じられるまちだと思う市民の割合向上 (令和3年度) 58.9% →(令和8年度)	(1)地域の魅力向上 ・静岡の文化資源や伝統文化、景観を次世代に伝える環境を整え、地域の魅力を育みます。また、その保存や継承をしていくための手段や人材が確保され、多くの人が誇りを感じるように様々な活用を行います。 ・静岡らしい町並みや食、市民の人柄や景観、文化活動などあらゆる“静岡らしい”雰囲気や魅力を発信します。それによって市民を始めとする多くの人々の「しずおか文化」に対する興味関心を高めるほか、来静したいと感じる人を増加させます。	◆久能山や浅間神社、神楽など、地元根ざした文化財・伝統文化の保存・活用を着実に実施できた。 ◆羽衣伝説の伝承と日本の伝統芸能の能を鑑賞できる機会となる「羽衣まつり」は世界文化遺産としての地域の魅力を向上させるとともに、地域への誇り、愛着の情勢に寄与した。 ◆A級順位戦やショートフィルムコンテストなど、県・市内外からの来訪や出品があり、観光やメディア芸術による魅力向上につながった。	◆担い手不足や高齢化という課題に対し、若年層の参画促進による文化の保存・継承・活用に携わる人材を確保していく。 ◆来場者の増加を目的とするイベント型から、文化の継承・創造につなげる事業へ転換していく。 ◆文化資源、地域文化を観光施策との連動により文化観光を推進していく。

基本目標	4つの視点			施策方針		評価点	改善すべき点・ 今後の事業に期待すること
文化を活かした交流による活力あふれるまちづくり	3文化でつながるまちづくり	<人のつながりにより目指すまちの姿> ●誰ひとり取り残さない理念に基づいた多様な文化事業が企画され、また施設等の環境が整備される事で、誰もが文化による心の充足を得る機会が提供されている。 ●文化によって生まれた繋がりの中で、集う人々が互いのあるがままを受け入れ、文化を通じ心豊かな生活を送っている。 ●市内の様々な「空間」で市民が文化を通じた居場所に出会い、緩やかな繋がりによって生きる喜びを感じている。	自分自身は、家族や職場・学校以外で文化による「人とのつながり」を持つ機会がある市民の割合向上 (令和3年度) 54.3% →(令和8年度)	(1)誰ひとり取り残さない機会の提供	・文化による繋がり(文化コミュニティ)の中で人々が互いのあるがままを受け入れ、年齢や性別、国籍、障がいや貧困などによらず誰もが文化に触れる公平な機会を創造し、誰ひとり取り残さないソーシャル・インクルージョンを達成します。	◆訪問コンサートやアウトリーチプログラムの実施、障がい者アート展の開催などにより、年齢、障がいの有無、文化経験の差に関わらず、文化に触れる機会を提供できた。 ◆ストリートピアノや公共空間を活用した取組により、「観る側」だけでなく自身が「参加・発信する側」として日常生活の中で文化と接する環境を提供できた。 ◆ストレンジシード事業では、アーティストと市民の協働が進み、文化を介した多様な主体のつながりが創出され、地域内外のネットワークの拡大、人とのつながりを持つ機会につながった。 ◆公共空間の文化活用により、公園・広場・駅前空間等が文化的滞在空間として活用され日常的に立ち寄ることができる場(サードプレイス)の創出が進展した。	◆障がい者、子ども、高齢者など多様な主体に応じた取り組みの強化と地域ごとの特性を踏まえた機会を提供していく。 ◆文化施設や貸館事業の利用率の向上に向け、貸館システムの導入による、利用者の利便性の向上、利用者の増加、稼働率の向上につなげていく。 ◆ストリートピアノやパフォーマンススポットが中心市街地に偏っており、その他周辺地域での機会提供が不十分。地域の理解向上による、日常的に文化に触れられる場の更なる増加と利用者の増加による居場所の創出につなげていく。 ◆単発的な参加に留まるケースも多く、継続的な関係構築が十分ではない。参加から担い手へとつながる仕組みの構築が必要となる。
	4文化でにぎわうまちづくり	<にぎわいにより目指すまちの姿> ●文化事業や文化に携わる人などの情報を国内外に向けて発信する環境が整備され、それぞれのターゲットに合わせた手段で積極的に発信されている。 ●大規模で魅力的な文化事業が開催され、多くの人が来静する事でまちが生き生きと賑わい、観光交流が活性化している。 ●市内のあらゆる場で文化による交流が盛んに行われ、人々の交流によって新たな文化事業が創造されている。 ●市民一人ひとりが主役となる「まちは劇場」を推進し、365日わくわくドキドキがあふれるまちづくりを行います。	自分自身や周りの人は、祭りやイベントなどの文化事業に参加したり、交流したりする機会がある市民の割合向上 (令和3年度) 43.5% →(令和8年度) 市内における文化による交流客数の割合向上 (令和3年度) 7,332,000人 →(令和7年度) 5,302,701人	(2)サードプレイスの増加	・市内にある様々な空間で市民が文化を通じた居場所に出会えるよう、家や職場以外の居場所であるサードプレイスを創出します。その緩やかな繋がりによって、生きる喜びを感じられる機会を増加させます	◆静岡まつりやみなと祭りなど静岡市ならではのイベントにより国内外から多くの人々が訪れ、まちの賑わいが創出された。 ◆来訪者によるSNS等での発信により、本市の魅力が発信され、交流人口の増加につながった。 ◆ストレンジシードなど公園や市街地など野外での公演により、身近なまちなかでのにぎわいの創出が実現したこと、県市内外、国外のネットワークを広げ、さらなるにぎわいが創出された。	◆イベントへの来訪による賑わいととどまらず、市内への回遊、観光や経済消費に波及する仕組みづくりが必要となる。

全体評価

◆第2期静岡市文化振興計画 令和7年度事業実施評価及び、第2期静岡市文化振興計画の総括として、今後の文化事業の展開に求められる要素を以下のとおり整理して総括としたい。

1 第2期静岡市文化振興計画全体における成果指標による評価と課題

①文化をはぐくむ人づくり

評価: まちは劇場の取り組みなどを通して、文化活動への体験の機会を積極的に提供してきた。

課題: 若年層の体験活動については、教育機関との連携など増やす事の出来る要素が多い。分野を横断して連携することで得られる、様々な市民の参加向上が求められる。

②文化がはぐくむ地域づくり

評価: 歴史については、文化財の保存や継承を進めることができた。

課題: 文化資源、地域文化の観光施策との連動による文化観光を推進していき、地域の魅力を感じる事業を通して、結果として次世代の担い手や後継者育成につなげることが求められる。

③文化でつながるまちづくり

評価: 文化による人とのつながりは、見る側だけでなく、発信する側になること、公園など日常で立ち寄れる文化的滞在空間の創出などの取り組みにより実行された。

課題: 文化施設の貸館システムなどの導入により、活動の利便性を上げる必要がある。

④文化でにぎわうまちづくり

評価: 文化イベントにより、文化事業への参加や交流機会の増加が実施された。

課題: 来訪者によるSNSでの発信など、すでに国内外との交流人口が増加しているが、静岡市を拠点とするプロの交響楽団や劇団との連携・民間との協働事業など、さらに国内外に向けた祭りやイベントの発信により、参加したり交流したりする市民の割合向上が求められる。

2 第3期静岡市文化振興計画のあり方

①静岡市の地域文化の継承に向けた次世代の担い手の確保

・静岡市で継承されてきた地域文化について、次世代を生きる若者に魅力を伝え興味関心を持ってもらい、継承していくことで次世代の担い手を確保すること求められる。

・体験機会の提供にとどまらず、若者が参画できる運営機会の創出や、育成プログラムの体系化により次世代の担い手を育成する仕組みが必要である。

②文化と観光や経済の横断的効果の創出

・にぎわいの創出を越え、市外県外、さらには海外からの来訪者を呼び込み、文化体験や観光により地域での消費、経済効果につながる取組みが求められる。

・文化事業を通じて、来訪者の増加、地域での消費、地域ブランドの形成につながる仕組みを構築し、都市全体の価値向上に寄与する文化政策への転換が求められる。

・分野を横断する複合的な取り組みにより、とりわけ消費者層である若者や子育て世帯の参加機会の拡充を図ることが求められる。

③市民主体運営の持続的強化

・持続可能な文化施策を実現するためには、行政主導による事業実施だけでなく、市民や地域、民間が主体的に関与する仕組みの構築が不可欠である。

・市民や文化団体の参画は進んできたが、地域主体による運営、民間との協働体制の構築を促進し、自立的・循環型の文化事業運営へと移行していく必要がある。

・継続的に関わる仕組み、担い手のネットワーク化を進めることで、文化事業の担い手が世代を超えて受け継がれていく環境を整備することが重要である。

4次総から5次総へ

第4次静岡市総合計画は、行政が行う様々な政策(施策や取組)を体系化し、アウトプット(何をするか)を中心に整理しまとめた計画でした。第5次静岡市総合計画は、社会問題を分析し、目標を見据えて中長期的な目指す姿を設定したことで、「政策集型」から、「成果志向型」へ見直しました。
第5次静岡市総合計画は、2026年から2035年までの10年間の計画として策定されました。

分野別の政策

⑥観光・スポーツ・文化

第5次静岡市総合計画(2026年～2035年)

目指すべき未来像

食、スポーツ、芸術、歴史など多様な文化で人々の心が豊かになるまち、来訪者の増加を通じて地域経済が潤っているまち

政策03

(文化活動)多彩な文化に触れ、体験し、文化を身近に感じて関わるができるまちにします

現状と課題

市民意識調査によれば、文化活動をすることに對して時間や経済面で制約を感じている人や、文化活動を通じた人とのつながりは心を豊かにするがその機会が十分ではないと感じる人の割合が高い。文化活動の拠点となる市の文化施設では、修繕やユニバーサルデザイン化、予約のしやすさなどへの対応が不十分である。

解決策

学校やまちなかなど身近な場所で、プロの交響楽団や大道芸など気軽に質の高い文化を体験できる機会を創出します。文化芸術の創作活動や表現の場、まつりなどへの参加を通して地域や人とつながる機会を充実させます。文化施設のユニバーサルデザイン化や貸館システムのオンライン化を進め、誰もが利用しやすい施設環境を実現します。

※参照：静岡市HP・総合計画

第2期計画から第3期計画へ

第2期静岡市文化振興計画は第3次総合計画に沿い、ゆとりある健康な心を維持し、生活を豊かにするためには、文化から「誰ひとり取り残さない」状態を達成していく必要があること。また誰もが家や職場・学校などのみならず、文化の力によって第3の居場所に出会い、その緩やかな繋がりによって豊かな生活を営んでいくことが必要であると策定されました。

第5次静岡市総合計画が策定されたことに伴い、令和9年度から令和17年度を計画期間として、総合計画に沿った「人々の心が豊かになるまち」「地域経済が潤っているまち」を達成するため、第3期 静岡市文化振興計画を策定することとしました。

現状と分析

- ・観光、歴史、スポーツの各資源との連携が不足し、単体効果に留まっている。
- ・多くの市民が関わる文化活動においても、新たな企業参画が少ない。

個別分野計画の段階で連携できる施策を考える

・観光基本計画	静岡市が誇る自然・食・歴史・文化などを体験・体感できる満足度の高い感動体験を提供し、旅行先として来訪者に選ばれるための観光ブランドを確立
・スポーツ推進計画	スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化
・生涯学習推進大綱	学びを地域や社会に活かすための支援の充実
・文化財保存活用地域計画	一人一人が、地域で共有する財産として文化財に興味・関心を持ち、関わり、仲間をつくって活動するなど、担い手として保存・活用の取り組みを推進

〈期待する効果〉市民、団体、大学、企業など、社会全体で文化活動を支え、さらなる民間投資を誘発し、将来の高度人材雇用に導くこと

これらを総合した計画の目指す姿として

【目指す姿】社会全体の力による共働・共創により、文化を通じて自分らしく心豊かに暮らせるまち

〈キーワード〉

文化を通じた感動体験

第3期 静岡市文化振興計画(2027年~2035年)【策定の経緯と方針】

基本方針

①市民が文化に触れる環境を整え、感性を育みます… 継続

文化を享受する機会及び選択肢の充実、地域への誇りや愛着を育むための機会の提供など、**これまでの「歴史に彩られた個性豊かな文化の創造」や「文化を活かした交流による活力あふれるまちづくり」の守るべき要素は継続し**、文化を通じて市民が自分らしく心豊かに過ごすことができる環境づくりを目指します。

②文化を通じた感動体験により、経済活動を促し、民間投資を呼び込む好循環を生み出します… 刷新

<キーワード> 民間投資を促す、他分野との連携

祭り、分野横断の取組、成長産業への支援等に民間投資を促すことで、市民・地域社会・企業・教育機関・行政など**社会全体の力による共働・共創により**、文化を通じて自分らしく心豊かに暮らせるまちを目指します。また、民間投資をもとに文化活動しやすい環境の整備を実施し、文化活動の基盤を強化していきます。

第2期から変更の方向性



スポーツ庁・文化庁・観光庁による包括連携協定(R7.2.5)

今般、スポーツ、文化芸術及び観光の相乗効果を発揮し、世界に対して我が国の魅力を発信することにより、「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」をキーワードとして、更なる訪日外国人旅行者の増加、国内観光の活性化を図り、これによる経済の好循環の実現を目指すべく、2月5日(水曜日)に包括的連携協定を改定しました。本協定に基づき、三庁の連携をより一層深めてまいります。

目指す姿「社会全体の力による共働・共創により、文化を通じて自分らしく心豊かに暮らせるまち」

資料 6

基本方針	施策の柱(案)	基本施策
基本方針1 市民が文化に触れる環境を整え、感性を育みます	柱1 多様な文化や魅力的な体験の提供 多様な文化と出会う機会によって、感性を育んだり、日常と異なるコミュニティで様々な人がつながったりすることで文化に興味関心を持ち、心が豊かになる体験を得ることができる。	誰もが多様な文化に参加し、人とつながる機会の提供 旧施策①⑦
KPI:過去一年間に文化を鑑賞・体験した市民の割合		静岡市の地域文化や伝統文化の継承と活用 旧施策③④
KPI:文化施設の利用状況	柱2 文化活動を支える環境づくり 市内の文化活動の活性化のためには、次世代の担い手や文化活動を行う人々を支援・育成する必要がある。文化活動の継続性を確保するために、ディレクターや指導者の育成・アーティスト活動基盤を整備することで、文化活動を続け、文化により活性化しているまちを目指す。	次世代の活動者・担い手の育成 旧施策② 文化と人をつなぐ情報発信と環境整備 旧施策⑧ 文化活動を続けられる場と機会の充実 旧施策⑥ (一部拡充)

基本方針2 文化を通じた感動体験により、経済活動を促し、民間投資を呼び込む好循環を生み出します	柱3 地域・企業との連携・協働による相乗効果の創出 各事業や各分野、実施者がそれぞれ単体で実施するのではなく、分野を横断し、多様な主体が協働・共創することによる相乗効果を生むことで新たな価値の創出や文化活動・地域の活性化をはかる。	祭りやイベント、障がい者アート事業を通じた地域や企業との連携・協働と文化交流の推進 旧施策⑤⑨
・多様な文化を活かす、連携させることで文化的価値を高め、都市像を再構築する ・社会全体での協働・共創と分野の垣根を越えた取り組みで文化の裾野を広げる ・民間投資を促進する仕組みを構築する ・多様な文化を通じた新たな価値を創出し、地域経済の活性化に繋げる〈キーワード〉 若者参入・分野横断・相乗効果	・食・歴史・スポーツなどの分野横断の連携により新たな魅力を創出することができる ・多様な主体の協働・共創により地域を活性化させる ・地域・企業・若者の連携による新たな活動の展開により文化活動の底上げを行う ・多様な主体の連携による文化活動の発展を目指す ・文化を起点とした交流と活力を創出する	分野横断による新たな価値創出、地域活性化 ★新規 ・多様な主体の協働・共創を支える若者を交えた仕組みの形成 ・文化芸術と他分野の連携による新たな参画機会の創出(複合的な分野の掛け合わせ) ・市の独自性・優位性を生み出すパッケージ化 ・若者が主体的に参画し、新たな都市像の創設
KPI:(若年層の参入)	柱4 感動体験による都市ブランディング 本市を代表するイベントの一つである大道芸により培われてきたものを強みとして、主にまちなかの公共的な空間を使い年齢・性別・国籍等の垣根を超えた文化創造活動を通じて、国際的な規模のフェスティバルなどを開催し、都市の存在価値を高める。それにより、世界中の人々から選ばれ、訪れたくなり、住みたくなるまちを目指す。	国際フェスティバルの開催と国際文化交流 ★改善
KPI:(人材育成)		市内に拠点を置くプロの交響楽団・劇団との連携・協働 ★改善

静岡市の文化に関する市民意識調査

令和8年 月 日

ご協力をお願い

静岡市では、総合的かつ持続的な文化の振興を図り、もって個性豊かな文化の創造及び文化を活かした交流による活力あふれるまちづくりに寄与することを目的として、平成28年4月1日に「静岡市創造及び交流によりまちの活力を生み出す文化の振興に関する条例」を施行しました。

この条例に基づき、「文化のちからにより国内外から多くの人々を集め、訪れる人、住む人を魅了する求心力の高いまちの実現」を目指し、平成29年に指針となる静岡市文化振興計画を策定し、静岡市文化振興計画を指針として令和5年度から令和12年度までの8年間にわたって文化振興を実施しています。

この度、その文化振興計画の中間評価を実施する時節となりました。つきましては、その基礎資料とするため、文化に関する市民の皆さんの取組や思いについてアンケート調査をさせていただきます。本調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力くださいますようお願いいたします。

アンケート調査の実施にあたっては、20歳以上の市民の皆様から、2,000人を無作為抽出し送付させていただきました。なお、結果につきましては統計的な処理をいたしますので、あなたのご意見が外部に漏れたり、他の目的に使用されたりすることは決してありません。

記入上をお願い

◇恐れ入りますが、封筒の宛名の方がご回答くださいますようお願いいたします。

◇あなた自身の考え方を、ありのままにお答えください。

◇回答は、用意された項目の中から当てはまるものを、指定されている回答数だけ選んで、その番号を○印で囲んでください。

◇回答が「その他」の場合は、番号に○印をつけ、()内に具体的にご記入ください。

◇回答が終わりましたら、この用紙をそのまま同封の返送用封筒に入れ、

令和8年 月 日(木)までに投函またはインターネットで回答をしてください。

※切手は不要ですが、インターネット回答にかかる通信料の負担はしかねます。

この調査についてご不明な点は、下記にお問い合わせください。

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号

静岡市 観光文化・市民局 文化政策課 石川・浅倉

電話:054-221-1040(直通) FAX:054-221-1407

電子メール:bunka@city.shizuoka.lg.jp

◆あなた自身の事について※この質問は全員にお聞きします。

F1 性別を教えてください。(○は1つだけ)

- ① 男性 ② 女性 ③ その他・回答しない

F2 年代を教えてください。(○は1つだけ)

- ① 20代 ② 30代 ③ 40代 ④ 50代 ⑤ 60代 ⑥ 70代以上

F3 お住まいの区を教えてください。(○は1つだけ)

- ① 葵区 ② 駿河区 ③ 清水区

F4 職業を教えてください。(○は1つだけ)

- ① 会社員 ② 公務員 ③ 自営業 ④ 派遣・契約社員 ⑤ パート・アルバイト
⑥ 学生 ⑦ 家事専業 ⑧ 無職 ⑨ その他()

F5 世帯人数は何人ですか。(○は1つだけ／※ご自身と同居者数の合計)

- ① 1人 ② 2人 ③ 3人 ④ 4人 ⑤ 5人 ⑥ 6人 ⑦ 7人以上

F6 同居されている方を教えてください。(○はいくつでも) ※1つの項目に複数人の該当者がいる場合も○は1つ

- ① 夫または妻 ② 子ども(未就学児) ③ 子ども(小学生) ④ 子ども(中高生)
⑤ 子ども(大学生) ⑥ 子ども(その他) ⑦ 親 ⑧ 兄弟姉妹 ⑨ その他親族
⑩ 恋人・パートナー ⑪ その他(ルームシェアなど)

◆あなたが思う「文化」の範囲について

※この質問は全員にお聞きします。

本市では文化によって、1人1人がより豊かな生活を送れるようにしていきたいと考えています。

文化による「人とのつながり」や「まちのにぎわい」を活性化し、社会的なつながりが生まれ、人の往来による経済効果も得られるまちの姿を目指しています。

あなたの文化活動の中でも特に、直接的な体験(家から出て会場に行く、制作活動を行う、人との交流を行うなど)を伴うものがあれば、その内容について具体的に教えてください。

問1-1 下記の中で、あなたにとって健康な心の維持や、豊かな生活を送るために役に立つまたは必要だ、と感じるものはありますか。普段の生活で触れているものなどを中心にご回答ください。(複数選択)
※本調査では文化をP2最上部のとおりに「健康な心を維持し、豊かな生活を送るために必要なもの」と位置付けており、家庭での音楽鑑賞・オンライン美術鑑賞や映画鑑賞、テレビなどを通じた体験も含まれます。

◆芸術	① 文学(読書含む) ② 音楽 ③ 美術 ④ 写真 ⑤ 演劇 ⑥ 舞踊 ⑦ メディア芸術(映画・漫画・アニメーション等) ⑧ その他芸術(大道芸等含む)()
◆伝統芸能	⑨ 雅楽 ⑩ 能楽 ⑪ 文楽 ⑫ 歌舞伎 ⑬ 組踊 ⑭ その他我が国古来の伝統的な芸能()
◆芸能	⑮ 講談 ⑯ 落語 ⑰ 浪曲 ⑱ 漫談 ⑲ 漫才 ⑳ 歌唱(カラオケ等含む) ㉑ その他の芸能()
◆生活文化	㉒ 茶道 ㉓ 華道 ㉔ 書道 ㉕ 囲碁 ㉖ 将棋 ㉗ その他生活に係る文化()
◆文化財や 地域文化の保全	㉘ 有形及び無形の文化財の保存・継承及び活用 ㉙ 地域固有の伝統芸能や文化芸術の振興 ㉚ 地域のまつり(静岡まつり・清水みなと祭り・大道芸ワールドカップ in 静岡・神社のお祭りなど)
	㉛ 該当するものはない

問1-2 あなたは上記のように、家庭で簡単にできる身近なものも含めて「文化」であることを知っていましたか?(○は1つだけ)

- ① 知っていた ② 知らなかった

◆あなたが実際に行っている文化活動について※この質問は全員にお聞きします。

問2-1 あなたが普段行っている文化活動・鑑賞・体験をしている文化は、次のうちどれですか。
(○はいくつでも)

◆芸術	① 文学(読書含む) ② 音楽 ③ 美術 ④ 写真 ⑤ 演劇 ⑥ 舞踊 ⑦ メディア芸術(映画・漫画・アニメーション等) ⑧ その他芸術(大道芸等含む)()
◆伝統芸能	⑨ 雅楽 ⑩ 能楽 ⑪ 文楽 ⑫ 歌舞伎 ⑬ 組踊 ⑭ その他我が国古来の伝統的な芸能()
◆芸能	⑮ 講談 ⑯ 落語 ⑰ 浪曲 ⑱ 漫談 ⑲ 漫才 ⑳ 歌唱(カラオケ等含む) ㉑ その他の芸能()
◆生活文化	㉒ 茶道 ㉓ 華道 ㉔ 書道 ㉕ 囲碁 ㉖ 将棋 ㉗ その他生活に係る文化()
◆文化財や 地域文化の保全	㉘ 有形及び無形の文化財の保存・継承及び活用 ㉙ 地域固有の伝統芸能や文化芸術の振興 ㉚ 地域のまつり(静岡まつり・清水みなと祭り・大道芸ワールドカップ in 静岡・神社のお祭りなど) ㉛ 該当するものはない

㉛と回答された方は P5 問3-1へお進みください。

問2-1で①～㉛を選択された方にお伺いします。

問2-2 あなたは普段、どのくらいの頻度で文化活動・鑑賞をしていますか。(○は1つだけ)

- ① ほぼ毎日 ② 週に1～2回くらい ③ 月に1～2回くらい
④ 年数回程度 ⑤ その他()

問2-3 あなたは具体的にどのような文化活動・鑑賞をしていますか。(○はいくつでも)

- ① 芸術家(プロ)等の舞台や演奏・作品の鑑賞
② 地域の文化団体等による発表・展覧会等の鑑賞
③ 地域に根差したイベントへの参加
④ 市民文化団体による文化活動への参加
⑤ 文化に関するボランティア活動
⑥ 自身での創作・発表活動
⑦ SNS やインターネットでの発信・表現活動
⑧ 日常の中での小規模な活動や創作
⑨ その他()

問2-4 あなたが文化活動・鑑賞をしていて、課題に思うことは何ですか。(○は3つまで)

- ① 文化情報の入手先がわからない ② 入場料等の値段が高い
③ 静岡市では見たい公演等が少ない ④ チケットが手に入らない ⑤ 入場者・参加者が少ない
⑥ 所属団体の会員確保・担い手不足 ⑦ 人材育成・レベルの向上 ⑧ 活動資金の確保
⑨ 活動・成果発表の場の確保 ⑩ その他() ⑪ 特に課題はない

問2-5 あなたが文化活動・鑑賞するうえで、望むことはありますか。(〇は3つまで)

- ① 無料または安価で鑑賞できる公演等の充実 ② 芸術家等の公演等における鑑賞機会の充実
- ③ 文化情報の充実 ④ ホールなどにおける発表の場の充実
- ⑤ 気軽に見てもらえる発表機会の充実 ⑥ 練習・創作をする場の充実
- ⑦ 活動を広報する場の充実 ⑧ 同じ趣味を持つ人との交流機会の充実
- ⑨ 講演やレッスンを受ける機会の充実 ⑩ その他()
- ⑪ 特に望むことはない

問2-6 あなたは普段、文化に関する情報をどこで入手していますか。(〇はいくつでも)

- ① 広報しずおか ② インターネット(SNSを除く) ③ TwitterやInstagramなどのSNS
- ④ 新聞・雑誌 ⑤ テレビ・ラジオ ⑥ フリーペーパー ⑦ ポスター・チラシ
- ⑧ 家族や友人・知人から ⑨ その他() ⑩ 特に入手手段はない

→問4へお進みください

問2-1で該当するものはない(活動していない)と回答した方にお伺いします。

問3-1 その理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- ① 文化に興味がないから② 経済的な余裕がないから③ 時間の余裕がないから
- ④ 会場が遠い・行く手段がないから⑤ 参加したいイベント・事業がないから
- ⑥ 1人では参加しにくいから⑦ 障がい等により参加しても楽しめない
- ⑧ 情報が入ってこないから⑨ 対象年齢が合わないから⑩ 家から出るのが面倒だから
- ⑪ その他()

問3-2 今後、内容によっては文化活動や鑑賞・体験をしたいと思いませんか。(〇は1つだけ)

- ① 内容によってはしたい ② 今後もする気はない **→問4へお進みください**

↓

問3-3へ進んでください。

問3-3 どのようなイベント・事業内容なら参加してみたいと思いませんか。(〇はいくつでも)

- ① オンラインで参加できる② 短い時間で気軽に参加できる ③ 無料または安価で参加できる
- ④ 都会で話題になったイベント・事業⑤ 家でも参加・鑑賞できる
- ⑥ 1人でも参加しやすい雰囲気がある⑦ 好きなアニメやキャラクター・芸能人等が 登場する
- ⑧ 学びが得られる・役に立つ内容である
- ⑨ 出演者や作品等について、興味をそそられる情報が発信されている
- ⑩ その他()

◆静岡市の文化施策の現状等について※この質問は全員にお聞きます。

問4 以下の静岡市の文化施設等をご存じですか。また、利用した事がありますか。(○は1つずつ)

		知っているし 利用したことがある	知っているが 利用した事はない	知らないし 利用した事もない
1	静岡市民文化会館	1	2	3
2	静岡市清水文化会館マリナート	1	2	3
3	静岡音楽館 AOI	1	2	3
4	静岡科学館る・く・る	1	2	3
5	静岡市美術館	1	2	3
6	中勘助文学記念館	1	2	3
7	静岡市民ギャラリー	1	2	3
8	静岡市立芹沢銈介美術館	1	2	3
9	静岡市立登呂博物館	1	2	3
10	静岡市文化財資料館	1	2	3
11	静岡市埋蔵文化財センター	1	2	3
12	静岡市東海道広重美術館	1	2	3
13	静岡市歴史博物館	1	2	3

問5 以下の静岡市のイベント等をご存じですか。また、参加・鑑賞した事がありますか。

		知っているし、参加・ 鑑賞したことがある	知っているが参加・ 鑑賞した事はない	知らないし参加・鑑 賞した事もない
1	大道芸ワールドカップ in 静岡	1	2	3
2	静岡まつり	1	2	3
3	シズオカ×カンヌウィーク	1	2	3
4	まちは劇場プロジェクト 「まちかどコンサート」 「親子コンサート」 「ストレンジシード」 「まちかどシアター」	1	2	3
5	静岡市民文化祭	1	2	3
6	静岡市芸術祭	1	2	3
7	駿府城夏まつり	1	2	3
8	清水七夕まつり	1	2	3
9	清水みなと祭り	1	2	3
10	羽衣まつり・三保羽衣薪能	1	2	3
11	富士山コスプレ世界大会	1	2	3
12	A級順位戦最終局(将棋)	1	2	3
13	静岡おでん祭	1	2	3

問6 静岡市が行っている文化事業や文化施設の運営等について満足していますか。(○は1つだけ)

- ① 満足している ② どちらかと言えば満足している
- ③ どちらかと言えば不満である ④ 不満である

問7 「文化的なまち」という言葉から、どのようなまちをイメージしますか。(○はいくつでも)

- ① 歴史や伝統文化が受継がれているまち ② イベントが盛んに行われ、多くの人が集まるまち
- ③ 文化施設やイベントスペースが充実したまち ④ 文化を担う人や、活動する人が多いまち
- ⑤ 多様性を大切にし、誰もが平等な機会を得られるまち ⑥ 教育環境が整ったまち
- ⑦ 生活の利便性が高いまち ⑧ 景観に配慮した美しいまち ⑨ その他()

問8 静岡市は、身近に文化が感じられるまちだと思いますか。(○は1つだけ)

- ① そう思う② どちらかと言えばそう思う ③ どちらとも言えない
- ④ どちらかと言えばそう思わない ⑤ そう思わない

問9 静岡市は、歴史・伝統文化や地域の魅力が感じられるまちだと思いますか。(○は1つだけ)

- ① そう思う ② どちらかと言えばそう思う③ どちらかと言えばそう思わない④ そう思わない

問10 あなたは、家族や職場・学校以外で「人とのつながり」を持つ機会がありますか。

(○は1つだけ)

- ① 機会が多くある ② ときどき機会がある ③ あまり機会はない ④ 機会ほぼない

問11 あなたやあなたの周りの人は、祭りやイベントなどを通じて、人や地域と関わる機会がありますか。

(○は1つだけ)

- ① 機会が多くある ② ときどき機会がある ③ あまり機会はない ④ 機会全くない

問12 静岡市は、文化を活かしてにぎわいが生まれているまちだと思いますか。(○は1つだけ)

- ① そう思う ② どちらかと言えばそう思う ③ どちらとも言えない
- ④ どちらかと言えばそう思わない ⑤ そう思わない

問 13 静岡市内で行われている文化活動の中で、他都市と比べて盛んなものは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

◆芸術	① 文学(読書含む) ② 音楽 ③ 美術 ④ 写真 ⑤ 演劇 ⑥ 舞踊 ⑦ メディア芸術(映画・漫画・アニメーション等) ⑧ その他芸術(大道芸等含む)()
◆伝統芸能	⑨ 雅楽 ⑩ 能楽 ⑪ 文楽 ⑫ 歌舞伎 ⑬ 組踊 ⑭ その他我が国古来の伝統的な芸能()
◆芸 能	⑮ 講談 ⑯ 落語 ⑰ 浪曲 ⑱ 漫談 ⑲ 漫才 ⑳ 歌唱(カラオケ等含む) ㉑ その他の芸能()
◆生活文化	㉒ 茶道 ㉓ 華道 ㉔ 書道 ㉕ 囲碁 ㉖ 将棋 ㉗ その他生活に係る文化()
◆文化財や 地域文化の保全	㉘ 有形及び無形の文化財の保存・継承及び活用 ㉙ 地域固有の伝統芸能や文化芸術の振興 ㉚ 地域のまつり(静岡まつり・清水みなと祭り・大道芸ワールドカップ in 静岡・神社のお祭りなど) ㉛ 該当するものはない

問 14 「静岡市の文化」というと、どのようなものを思い浮かべますか。(自由回答)

問 15 静岡市を代表する文化として発信すべきものは何だと思いますか。(自由回答)

◆今後の静岡市の文化への取組みについてお伺いします。

この質問は全員にお聞きします。

問 16 文化活動が充実することにより、あなたが期待する効果は何ですか。(〇は3つまで)

- ① まちのにぎわい創出 ② 経済の活性化 ③ 都市イメージの向上
④ 地域への誇りや愛着の醸成 ⑤ 新しいコミュニティとのつながり
⑥ 産業や福祉への相乗効果 ⑦ 心の安らぎや生活の充実 ⑧ 地域住民の連帯感の強化
⑨ スポーツなど他分野との連携による地域活力 ⑩ その他()
⑪ 特に期待する事はない

問 17 文化活動を行う環境をよりよくするためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

- ① 利用しやすい文化施設の整備や拡充 ② 市民のニーズに応じた様々な文化鑑賞機会の充実 ③ 担い手(次世代)に対する育成・支援の充実 ④ 郷土の歴史や文化を学べる環境の整備
- ⑤ 文化情報が伝わりやすくなるような仕組みづくり
- ⑥ 官民連携や市民と協働した実施体制の充実
- ⑦ 文化事業全般を評価検証できるような組織の整備
- ⑧ その他()

問 18 文化の担い手を育成する(次世代に文化を繋いでいく)には、どのような取り組みが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- ① 学校等での文化教育の充実 ② 様々なアーティストや専門家と触れ合える機会の提供
- ③ 若手に対する育成支援や援助 ④ 発表の機会や練習場所の確保
- ⑤ ボランティア育成と参加機会の提供 ⑥ 大学等の専門機関の協力 ⑦ その他()

問 19 イベントや文化事業に参加してみたいと心を動かされる情報媒体はどのようなものですか。

(○は3つまで)

- ① マスメディア(テレビ・ラジオ・新聞)等による密着取材やニュース報道
- ② 専門のホームページ設立など、インターネットによる充実した情報発信(SNSを除く)
- ③ Twitter や Instagram などの SNS によるタイムリーな情報発信
- ④ ポスター・チラシなどのデザインやキャッチコピー
- ⑤ 文化の情報発信拠点など、複数の情報を得られる環境
- ⑥ ポストなどに投函された情報誌・フリーペーパー
- ⑦ 家族や友人などからのお勧めや口コミ
- ⑧ その他()

問 20 静岡市は年齢、障がい、性別など様々な要因に関わらず、誰もが文化施設の利用や、祭りやイベント・文化活動への参加をしやすいまちだと思いますか。(○は1つだけ)

- ① そう思う ② どちらかと言えばそう思う ③ どちらかと言えばそう思わない ④ そう思わない

問 21 あなたが普段、文化施設の利用や、文化活動へ参加する際、身体的または精神的に不便に感じ、改善してほしいと感じたことはありますか。(○はいくつでも)

- ① 会場のバリアフリー化がされていない ② 会場までのアクセスが悪く、参加を断念した
- ③ インターネットを通じた申込みができない・チケットの発券ができなくて苦勞した
- ④ 会場までの案内看板が少ないまたはなく、迷ってしまった
- ⑤ 駐車場がなくて車を置くことができなかった
- ⑥ 同行者(子ども・高齢者・障がいのある方など)を連れて行動するのに苦勞した
- ⑦ 大きな音や激しい明滅で気分が悪くなった ⑧ ジェンダー的な差別を感じた
- ⑨ 年齢制限で参加できないことがある
- ⑩ 文字や漢字が読めず、困ることがある(文字が小さい、病気によるものも含む)
- ⑪ 外国語の対応が不足している ⑫ その他()

問 22 文化施設を利用する際に、あると便利だと思う設備はなんですか。(○はいくつでも)

- ① 駐車場 ② エレベーター ③ バリアフリースイッチ ④ 飲食施設 ⑤ ショップ
- ⑥ その他()

問 23 あなたが普段、文化施設の利用や、文化活動へ参加する際、配慮されて助かったことはありますか。または配慮が足りず困ったことがあれば、それぞれ具体的にご記入ください。
(自由回答)

--

問 24 文化によって健康な心の維持と豊かな生活を送るために、静岡市が取り組んでいくべきことはどのようなことだと思いますか。また、期待する取組みは何ですか。(自由回答)

--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

記入した調査票は返信用封筒(切手不要)に入れ、令和 8 年月日()までに投函してください。

海野委員	1文化をはぐくむ人づくり ・青葉公園でのストレンジシード、まち劇スポット、まちかどコンサートなど、継続開催の効果が始まっていて、市民にも定着しているように思う。 ・アウトリーチ活動や美術館での体験コーナーなど子供達にじかに触れる活動は、情操教育にも大きく役立っていると思われる。 3文化でつながるまちづくり ・市内における非常に多彩な文化事業数は、静岡市が他の都市よりも誇れる特質だと思う。障がい者アート展の開催や、ストレンジシード事業、ストリートピアノなどはサードプレイスの提供に大きく貢献していると思われる。 4文化でにぎわうまちづくり ・5月の連休、静岡まつり、大道芸開催期間中などは、市内に他県の自動車が大変多く見られることから、様々なイベントの認知度はかなり広まっていると思われる。
久野委員	1文化をはぐくむ人づくり ・交流活性化事業は、「美術館ではない清水マリナートだからこそ実施可能な、親しみやすい体験型展示事業を開催する」という理念が体现され、時代を反映した多世代が楽しめる展示が多く評価できる。 ・新たにスタートした『まち劇シアター』は、劇場に馴染みのない人がハプニング的に演劇に出逢えると同時に、参加者も演劇体験ができる稀有な企画であることが評価できる。演劇に関わったことのない人に参加者となってもらおうべく広報の場所に一工夫が必要だ。

改善すべき点・今後の事業に期待すること

海野委員	3文化でつながるまちづくり ・静岡市民文化会館の閉鎖中にも関わらず、清水文化会館（清水マリナート）の稼働率が、70%程度なのは非常に残念に思う。運営を指定管理者だけに任せず、行政としても関わるべきだと感じる。また箱ものに拘らない文化の発信もこれからの課題と感じる。
久野委員	1文化をはぐくむ人づくり ・まち劇スポットに関しては、パフォーミングの機会拡大はもちろん大事だが、しばしば観客が非常に少ないパフォーマーもあり、昨年度の課題として出た「周辺施設の来訪者・新規客層の開拓」とは程遠い現状がある。パフォーマー側も、自身とファンが満足するパフォーマンスが出来ればよいだけでなく、まち全体のにきわいづくりの担い手であることを自覚して活動してほしい。 3文化でつながるまちづくり ・「誰ひとり取り残さない機会の提供」について、ただ機会が事業として提供されていればよいのではなく、それぞれの事業の中でどのような機会分配が行われているかを注視する必要がある。個々の属性が特段有利に働くことなく、公平平等に機会を得られる事業であることが望ましい。

1 第2期計画4つの視点による評価と課題

海野委員	・これまでの広範な体験機会の提供や事業の展開は大いに評価されると思うが、文化活動の内容は鑑賞、創作、参加など、基本的に自主的な活動によるもので、他から強要されるものではないため、その環境を整備することが第一の行政の使命であると思われる。そのためには市民が要望する内容を十分に把握する必要がある、場合によっては市政の他部門との協働も課題になると思う。 ・様々な分野でのアウトリーチ事業などは、面積の広い静岡市においては、参加人数の大小に捉われることなく、地道に実施していくべきだと思われる。入場者数や体験者数だけで事業を評価するのは、必ずしも正しい評価ではないと思う。静岡市としてやらなければならないもの、続けなければならないものを正しく評価して、質の高い事業の継続を望みたい。 ・一部の伝統文化活動は主体となる団体の努力だけでは継続が難しくなっているのが現状で、高齢化や担い手不足は直面する課題となっている。とはいえ高齢者の活躍の場ともなっている場合もあり、文化団体との情報共有も必要と思われる。 ・イベント来訪者による経済効果は、主として飲食業などに限られ、中々観光や他の産業にまで波及するのは難しく思われる。現代的な手段による情報発信や、駐車場、交通機関などのインフラ整備も含めて総合的な対応が必要と思う。
久野委員	・「来場者」ではなく、より能動的にかかわる「参加者」や「継承者」を増やしていくためには、その文化に尽力する時と同じか、それ以上の厳しさを持って、裾野を広げるための活動が必須である。関わる側が硬直的にならず、積極的に若者の陣地に乗り込む気概が欲しい

2 第3期計画のあり方

海野委員	・静岡市内の文化資源は非常に多彩であるが、住んでいることによって実感しなくなっていることもあり、県外の人の方が返ってその価値を感じている場合もある。今更ながらその価値を静岡市民に再認識させる手段も考える必要を感じる。 ・文化活動の継続はそれを維持するための個人の経済力と隣り合わせで、安易に「市民主体運営の持続的強化」とはいえないのが現状であり、むしろ限界に近いのではないかとさえ感じる。理想は文化活動により経済的効果が生まれることであるが、それには魅力的な活動場所や機会の提供が必要で、場合によっては経済的な支援も必要と思われる。 ・静岡における文化の担い手には、国内あるいは海外においても高い評価を得ている人材もいると思われ、それらを把握しながら活動範囲を市内に留めることなく、広い視野で文化を育てていくことも必要だと思われる。 文化活動の中身は個人によるものと団体によるものと性質が異なり、活動の内容によってきめ細やかな対応も重要と感じる。
久野委員	・評価一覧表に記載されている「子ども」に関する事業数と比較すると、「障がい者」を主体とする事業は非常に少なく「障害者アート」のみ。他は「演劇」があるくらい。また、新規に文化活動を始めたい「高齢者」のための事業が見当たらない。「高齢化」が課題の事業が多いことは別に考える必要がある。多様な場での障がい者の活躍と、人生100年時代「高齢者」の新たなチャレンジを、応援できる事業が欲しい。
宮城嶋委員	・「文化」という言葉が大きすぎます。鑑賞・発信される「表現活動」と、土地に根づいた暮らしの「習慣」を分けて立てないと、施策も評価も意味が定まりません。現状の交流客数は表現の動員に偏り、習慣に触れる「体験」が抜け落ちているように感じます。 ・この「体験」も一語ではなく、深さの段階で捉えるべきです。観る→通う→関わる→担う、と

	いう階段があります。「感動体験」がどの段を指すのかを明確にしたほうが、より実現性のある計画になります。 ・KPI は、一回の動員数ではなく「二度目以降」（再訪・継続・担い手化）を測れる形に。「何人来たか」ではなく「何人がまた来たくなったか」を評価の軸に。そうしなければ、循環は測れません。 ・骨子案は、基本方針1（市民の感性）と基本方針2（経済・民間投資）が上下で分かれています。両者をつなぐ循環（体験→経済→活動→また体験）こそ目指す姿のはずです。循環を中心に置く形をご検討いただければと思います。 ・体験を深い段階へ引き上げ、かつ二つの計画（表現を担う文化振興計画と、継承を担う文化財保存活用地域計画）をつなぐ具体例として、能『羽衣』の上演のあり方を挙げたいです。能『羽衣』の舞台はこの三保松原であり、本物の音楽と迫力という、ほかの芸能では代えがたい力を持っています。一方で、古語や地名が現代の観客に届きにくく、意味が半分しか受け取れないまま終わってしまう、という難しさもあります。そこで、観客や俳優が三保の砂浜に立ち、自ら松に衣をかけてみる、天女のように両腕を広げてみる、といった形で物語の中に入る上演（イマーシブシアター等）が考えられます。意味が体験として深く届けば、その先で「本物の能を見たい」という気持ちが育ちます。鑑賞で終わらず、本物の継承へと人をつないでいく入口になります。これは、羽衣の松という土地と地続きで、よそでは成り立たない表現であり、上演を担う文化振興と、能や羽衣伝説の継承を担う文化財保存活用地域計画とを、一つの企画でつなぐ例にもなります。 ・交流客数は、祭りやイベントに「観に来た人」の頭数、いわば表現の動員を測った数字です。ただ、人に選ばれる理由となる「地域性」は、表現そのものではなく、その土地の暮らしや生業（習慣）から生まれ、それを外から見た人が珍しさや美しさとして表したときに、表現として現れるものだと考えます。表現は習慣の現れであり、地域性の源は習慣の側にあります。
山内委員	第2期の、評価指標として「来場者数」「入場者数」「参加者数」が多く設定されている点については、今後の評価のあり方を考えるうえで、少し検討が必要ではないかと感じました。現在のような事業の成果を単なる来場人数ではなく、「どれだけ社会に伝わったか」「どれだけ地域の担い手が関わったか」「どれだけ行政以外の力が育ったか」という視点で見るために有効な補助指標を追加するべきと考えます。 次の段階では、「人が来たか」だけでなく、「体験がどう広がったか」「参加者が次の行動に移ったか」「地域の担い手や協力者が増えたか」という視点を、評価指標に加えていくことが必要ではないかと感じます。 第3期静岡市文化振興計画に向けては、文化事業を単発の体験機会として終わらせるのではなく、次世代の担い手の育成、文化と観光・経済の接続、市民主体による持続的な運営へとつなげていく視点が重要になります。 伝統文化に触れた市民が、その後どのように関わり続けることができるのか。見る側、体験する側から、支える側、発信する側、運営に関わる側へ移っていく導線があるのか。そこに、意思、計画、実行方法があるかを見ていく必要があります。 単に事業を実施するだけでなく、事業を通じてどのような担い手を育てようとしているのか、どのような協力者や支援者をどう増やそうとしているのか、民間や地域との関係性をどう広げていこうとしているのかを、計画の中でより明確にしていくことが必要となります。